

# 「地域貢献のための拠点病院「これまで」と「これから」 ～ワースト1位を背負った県では？～



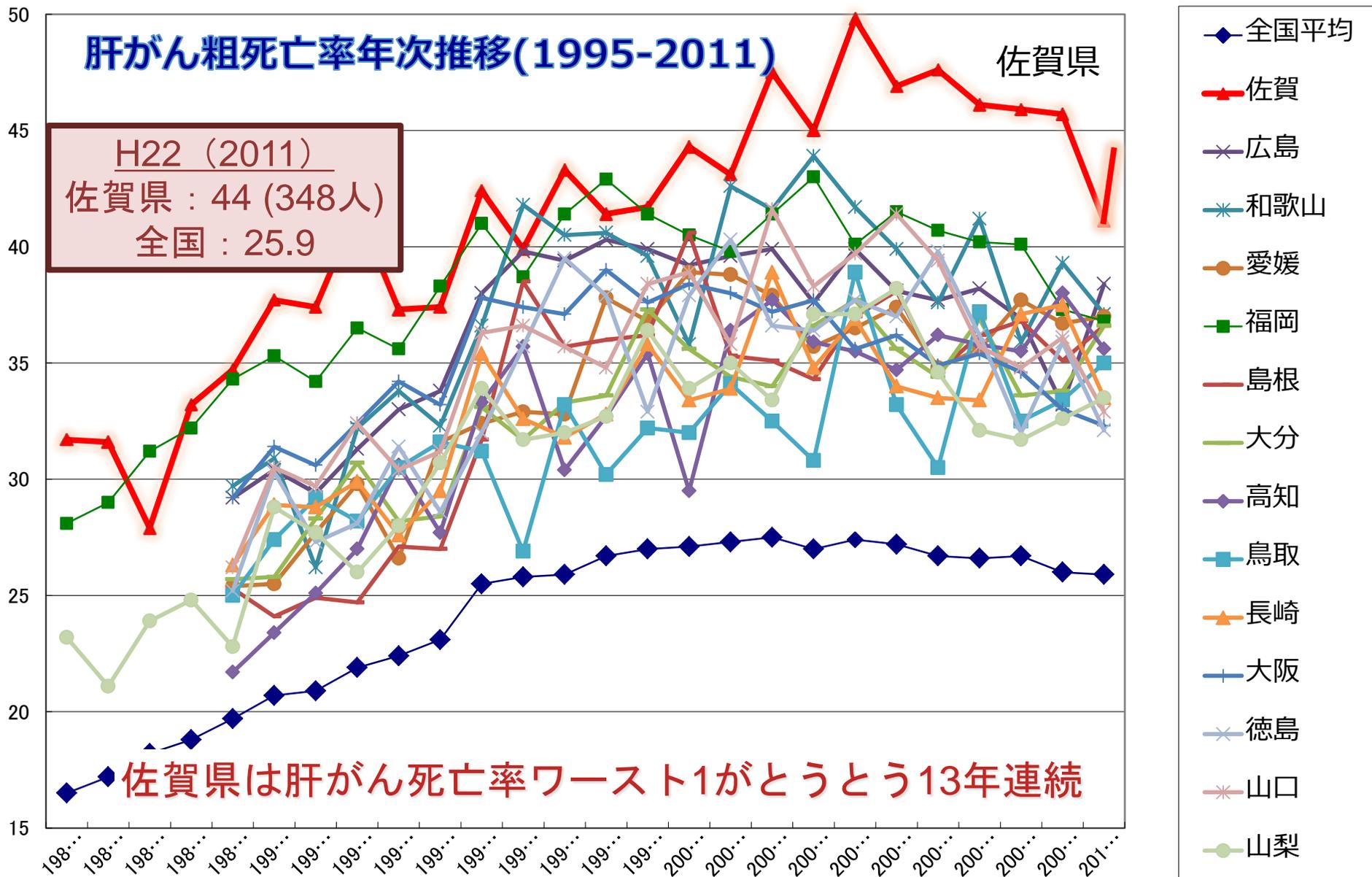
佐賀大学 医学部 附属病院  
肝疾患センター

江口 有一郎

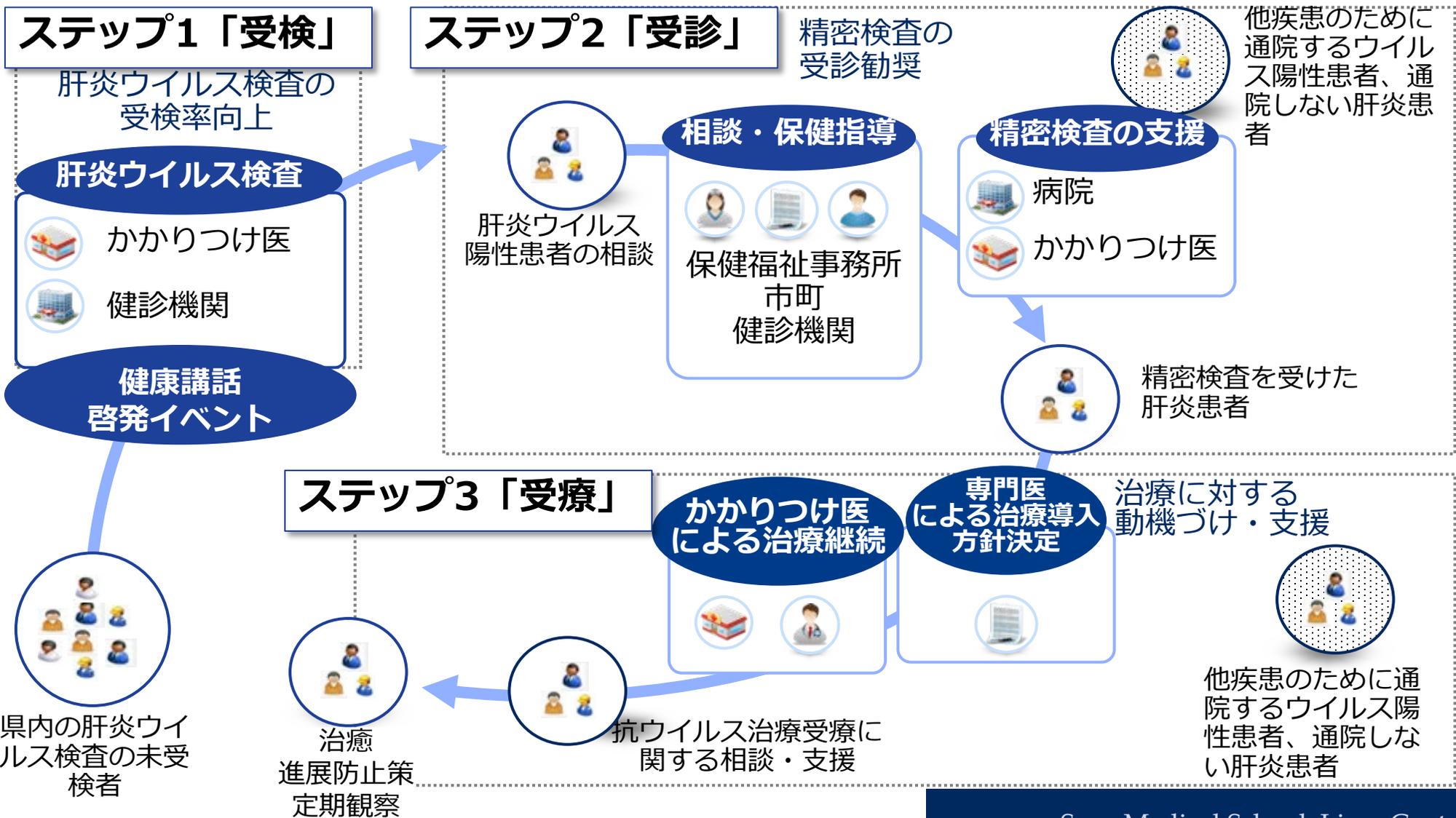
[eguchiyu@cc.saga-u.ac.jp](mailto:eguchiyu@cc.saga-u.ac.jp)

# 拠点病院のこれまで

# 佐賀県では毎日1人以上が肝がんで亡くなっている



# 肝炎患者の高齢化が進む中、肝疾患連携エコシステムを円滑に進めるフォローアップシステムの構築が急務である



# 「受検」「受診」「受療」の3ステップがシームレスに進んでいない可能性がある

## ステップ1「受検」

肝炎ウイルス検査の受検率向上

### 肝炎ウイルス検査

-  かかりつけ医
-  健診機関

### 健康講話 啓発イベント

## ステップ2「受診」

保健指導と医療機関での精密検査の受診勧奨

 肝炎ウイルス陽性患者の相談

### 相談・保健指導

-   
- 保健福祉事務所  
市町  
健診機関

### 精密検査の支援

-  病院
-  かかりつけ医

他疾患のために通院するウイルス陽性患者、通院しない肝炎患者



## ステップ3「受療」

### かかりつけ医による治療継続

-  

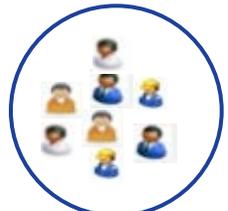
### 専門医による治療導入方針決定

- 

治療に対する動機づけ・支援



他疾患のために通院するウイルス陽性患者、通院しない肝炎患者



県内の肝炎ウイルス検査の未受検者



治癒  
進展防止策  
定期観察

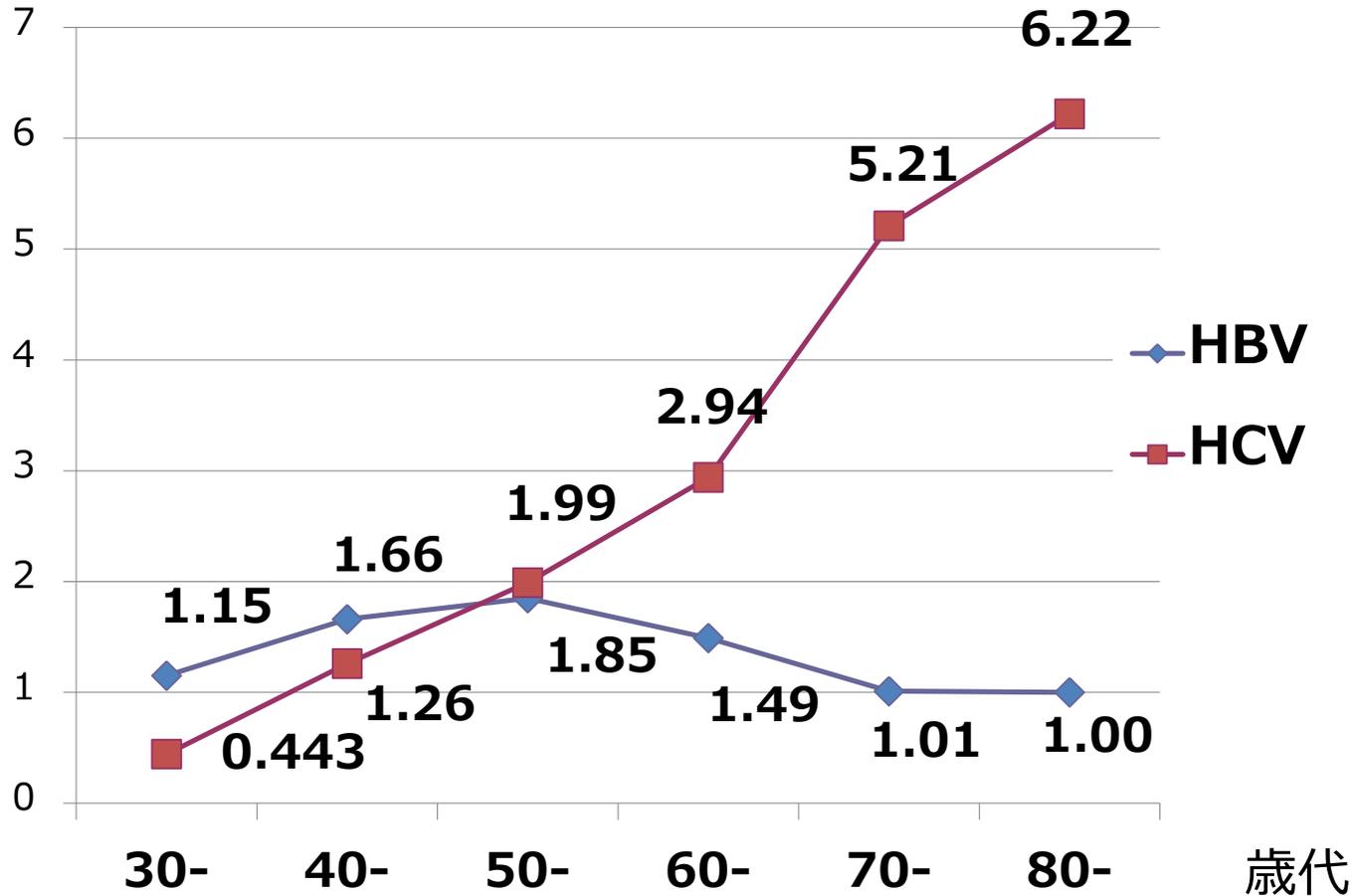


抗ウイルス治療受療に関する相談・支援



# 佐賀県は肝炎ウイルスキャリア率が高い

佐賀県肝炎ウイルスキャリア率2001-10



佐賀県（対全国比）  
HBV 1.44%（2倍\*）  
HCV 2.25%（4倍\*）

佐賀県のC型肝炎ウイルス感染率は全国1位。

B型肝炎ウイルス感染率も全国平均より高い。

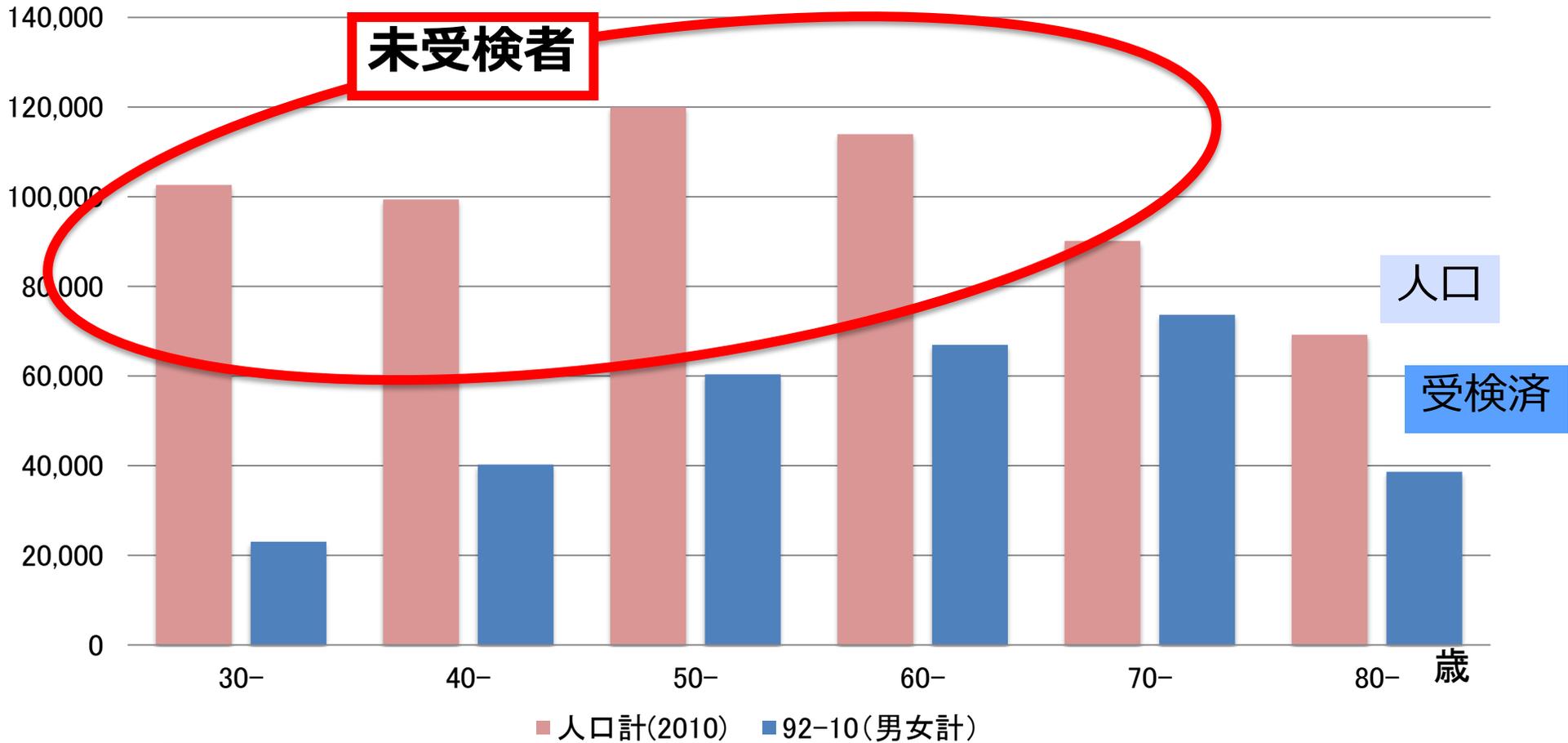
\*全国：HBV 0.71%, HCV 0.63%(2005初回献血者データ)

資料：佐賀県肝疾患対策委員会（2001-2010年）

# 肝炎ウイルス検査の受検率は働き盛りの40~50歳代で低く、全体では県の人口の半数しか受検していない

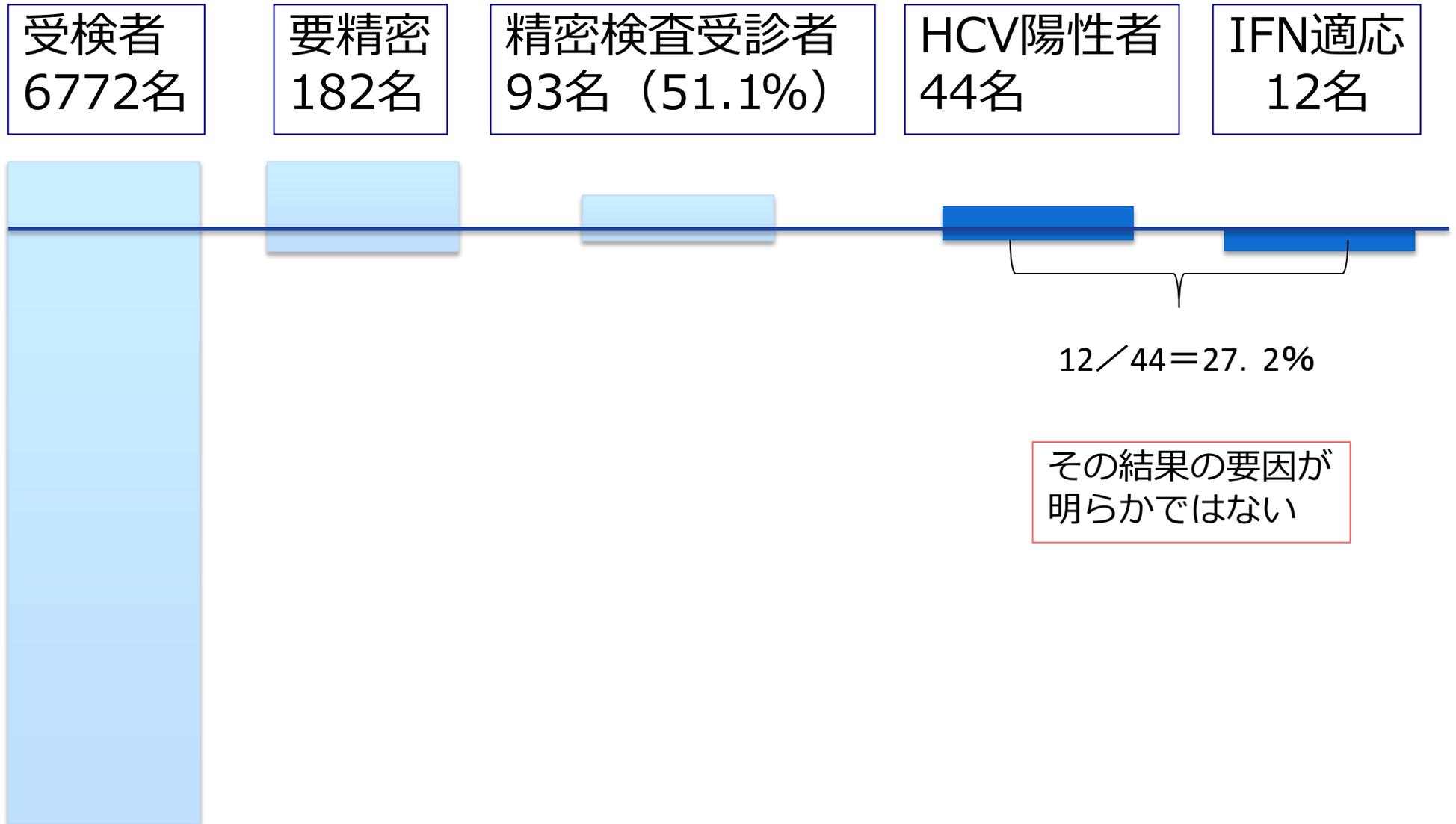
## HCV検診終了率1992-2010

%

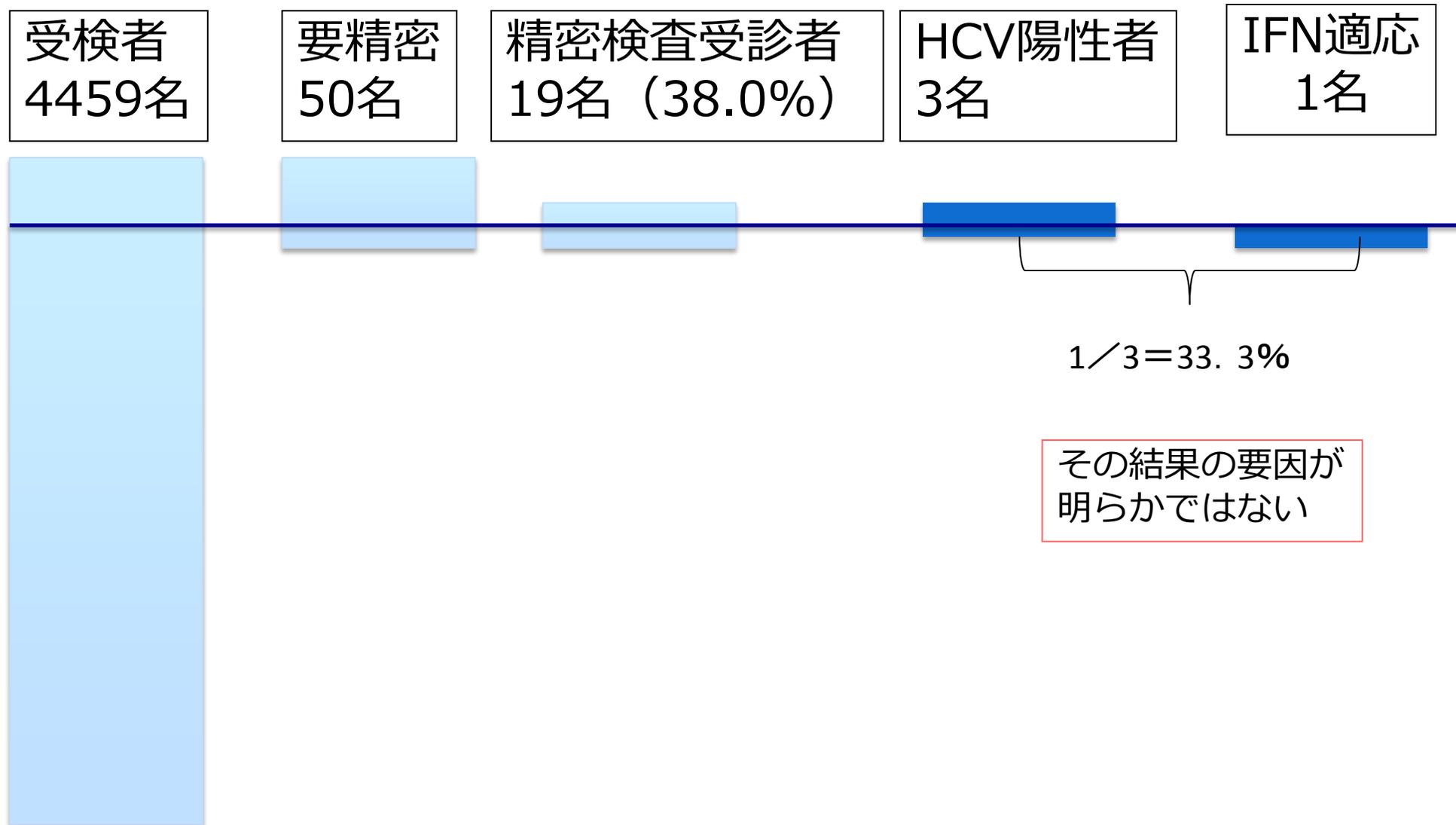


**受検率： 男 40.3%, 女 59.5%, 全体 50.9%**

# 平成23年度 市町ウイルス検査検診実施状況



# 平成23年度 職域のウイルス検査検診実施状況 (協会けんぽ実施 (595円) 分を除く)



# 『地域医療再生基金におけるIT活用による地域医療連携について』

ITを導入する以前の段階における留意事項(一部抜粋)

## ヒューマンネットワークの構築

地域医療連携には、医療情報を円滑に連携するための**人的連携を構築する取組みが必要であり**、連携医療を担当する人員の確保とともに、その間の信頼関係が構築されていなければならない。

ITの活用を具体的に検討する際の留意事項(一部抜粋)

## 持続的に運用可能な情報連携ネットワークシステム

新規に情報システムを導入し連携する場合には、持続的に運用することを考慮して、可能な限り**低コストで簡素なシステムを選択すること**。また、特に集中型の連携においては、地域内で連携する**各医療機関間の役割分担を明確化すること**が重要。

## 安価で拡張性のあるインターネットでの接続

将来的な拡張性(他地域の機関や他の疾病の医療連携グループとの分散型情報連携等)及びコスト負担を考慮して、**インターネットによるネットワーク接続を選択することが望ましい**。例えば既存の地域連携サービスへの加入など、安価で簡素な情報連携を実施することが望ましい。

## 外部のシステムとの情報交換機能の整備及び診療情報の標準の採用

将来的にオンラインで情報連携を行うことも考慮し、**標準的なフォーマット・用語コードに沿った形**での診療情報(紹介状には記載されない診療サマリを含む)を、**可搬媒体で読み書きができる形**で連携ができる機能を整備することが望ましい



首相官邸 Prime Minister of Japan and His Cabinet

# ヒューマンネットワークにより 地域ぐるみで肝疾患の疾病管理を推進する

専門医療機関 7施設  
佐賀県医師会  
5地区 保健福祉事務所

県議会  
製薬企業、卸企業、検査会社  
佐賀県薬剤師会、各地区薬剤師会  
佐賀県看護協会、栄養士会、MSW  
佐賀ロータリークラブ等  
佐賀県下 学校法人（中学、高校）  
銀行、郵便局  
血液センター  
JA、漁協  
商工会、商工会議所  
イオン  
サガテレビ  
NHK  
ケーブルテレビ  
タクシー協会、トラック協会

10市、10町  
保健福祉事務所所長会  
特定健診実務者会議  
協会けんぽ  
拠点病院連絡協議会



# 『地域医療再生基金におけるIT活用による地域医療連携について』



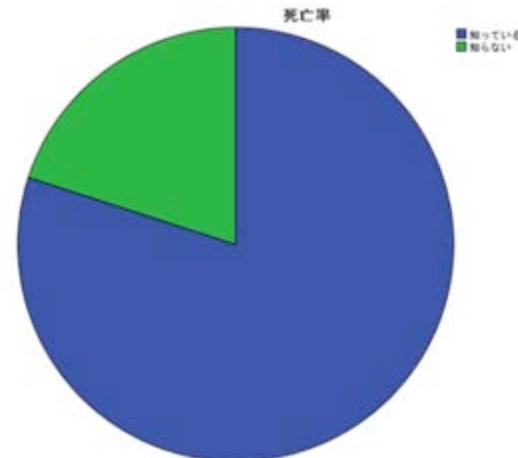
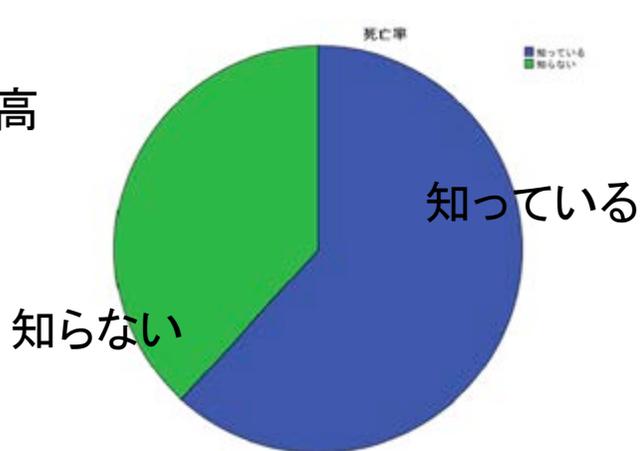
# 佐賀県民は現状は認識していても、対策は認知していない

サガテレビCMのDTC (Direct to consumer) 効果

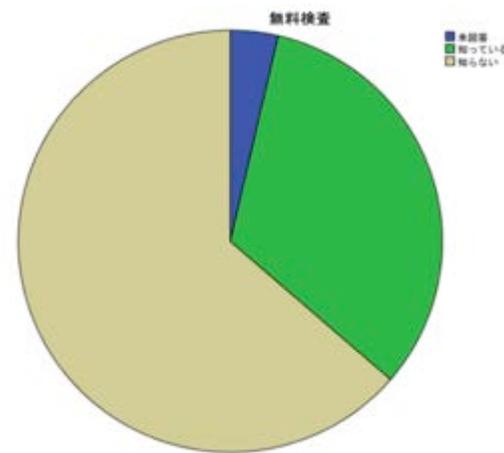
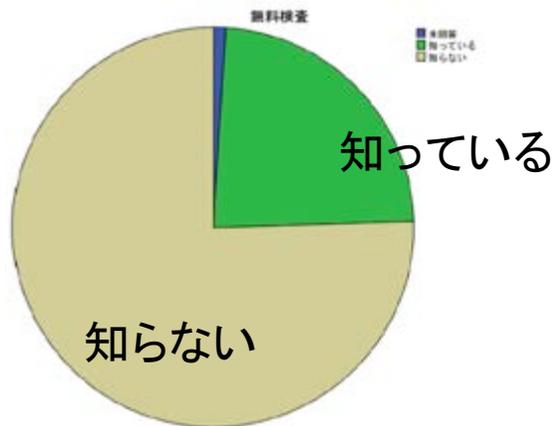
佐賀駅コンコース 102名

ゆめタウン 55名

佐賀県は肝がん死亡率が高いことを知っている？



佐賀県は肝炎ウイルス検査が無料で受けられることを知っている？

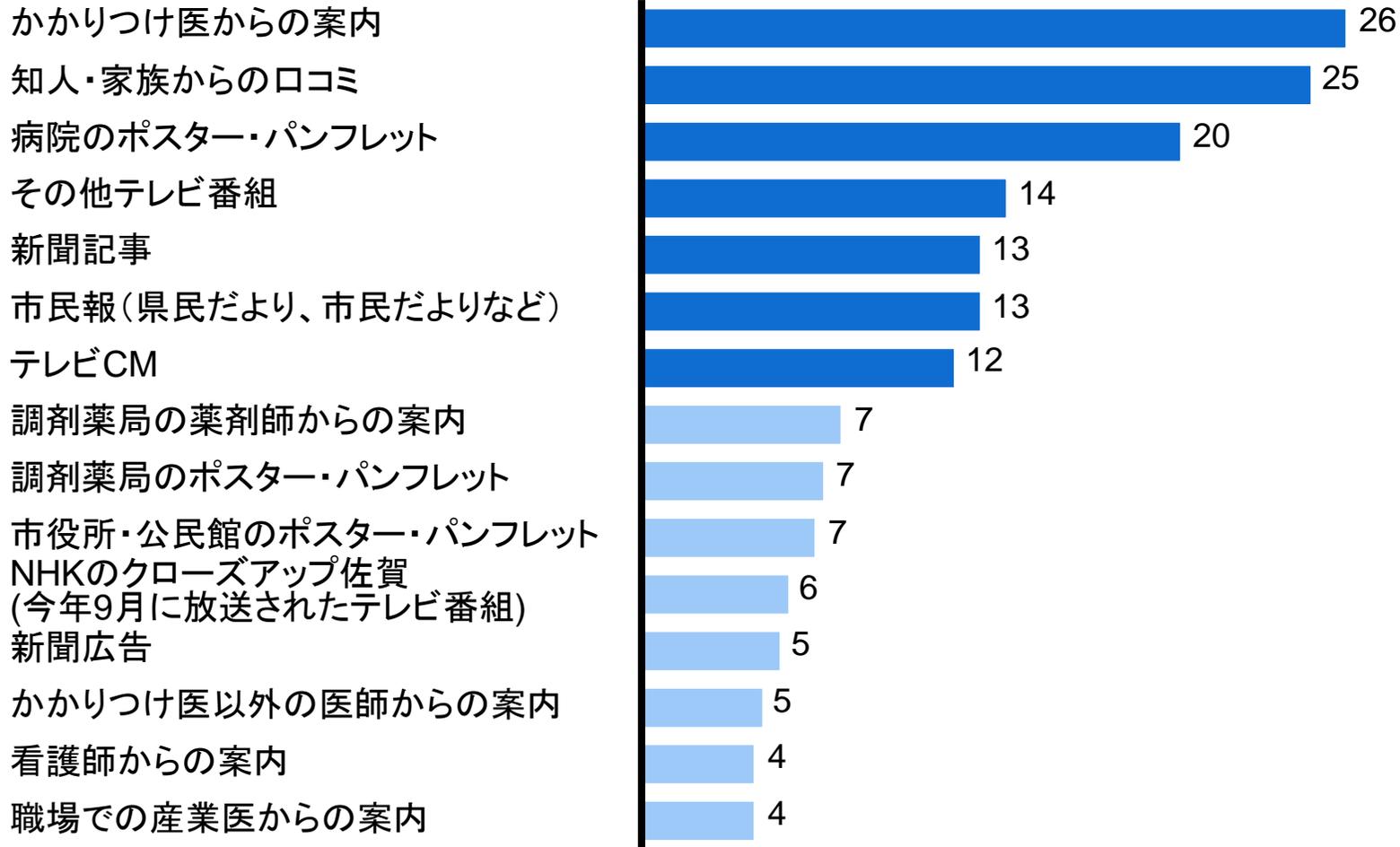


# かかりつけ医や家人、病院のポスター・パンフレットなどの媒体による肝炎情報への接触が高い

認知が高かった取り組み上位15

■ 医師・病院関連

%; 100% = 307人; 薬局を訪れた市民のうち 肝炎検査を知っていると回答した人



医師や、その他医療従事者からの案内のみならず、病院のポスター・パンフレットも高い認知率を示している

# Step 1: 「受検」

# 従来の啓発方法（ひとを集める）



# 啓発方法の追加（ひとが集まるところへ）



NHK放送局まつり（H24年10月）



さが農業まつり（H25年1月）  
8万5000人

# 佐賀県全体で民間企業・メディアを含む多職種協働による啓発活動を実施

世界的にも独創的な試みとこのことで、WHAで事例紹介された



佐賀県庁ホームページ>県政の運営>施策>公共サービス共同研究推進事業>イノベーション“さが”プロジェクト (公共サービス共同研究推進事業)

## イノベーション“さが”プロジェクト(公共サービス共同研究推進事業)

2014年5月12日

### 1) 「イノベーション“さが”プロジェクト」とは？

共同研究課題 (平成25~27年度)  
ウイルス性肝炎患者の見つけ出しから受療促進までの効果的な仕組み構築に係る研究

このプロジェクトは、県が、行政現場で関心の高いテーマやニーズの高いサービス内容の提示、実験的活動のためのフィールドの提供、ユーザーフィードバックの提供などを行い、民間、団体などが、行政の課題解決に役立つサービスや製品の実験的提供などを行い、両者がその成果を共有していくことに特徴があります。



これによって、これまで民間主体に対しては普及しているにもかかわらず、行政主体に対しては実験的機會がなかったために普及していないサービスの導入などが促進され、公共サービスの質の維持向上及びコストの削減が図られることが期待されます。



2月~7月 (6ヶ月間)  
CM毎月1本追加 + ミニ番組2ヶ月に1回更新  
3000 GRP (Gross rating point、延べ視聴率)  
NHK佐賀での昼と夕方の番組

ポスター5000箇所  
協会けんぽ検診チラシ30000枚  
佐賀新聞 2週間に1回、1面に記事  
県内の集会、祭り、イベントに参加

\*前後で全県でDTC効果を測定しました

# 部分最適化と成果を繋ぐためには「コミュニケーション」が不可欠

## 問題解決

- ・ 県民の健康感の向上
- ・ 健診受検率向上
- ・ アクセシビリティ
- ・ 精密検査受診率向上
- ・ 治療費助成認知度向上
- ・ 治療法の開発
- ・ 副作用の軽減
- ・ 専門医育成
- ・
- ・

## コミュニケーション

- ・ 理 解
- ・ 共 感
- ・ 信 頼
- ・ その気になって  
もらう

## 成果

県民（患者）ひとりひとりの行動が変わり、  
地域（県）全体の疾病  
管理が可能となる

CM素材名称	秒数	期間	ランク	本数
肝がんワースト1汚名返上P 農村篇	30秒	13年2月1日金曜日 ~ 13年4月17日水曜日	A	83
			SB	87
			B	32
			C	109
			計	311
肝がんワースト1汚名返上P 少年野球篇	30秒	13年2月1日金曜日 ~ 13年4月17日水曜日	A	80
			SB	82
			B	39
			C	93
			計	294
肝がんワースト1汚名返上P 実録検査篇	15秒	13年3月5日火曜日 ~ 13年4月17日水曜日	A	23
			SB	55
			B	27
			C	39
			計	144
肝がんワースト1汚名返上P 私も検査に行きましたよ篇	15秒	13年4月18日木曜日 ~ 13年6月10日月曜日	A	16
			SB	59
			B	35
			C	20
			計	130
肝がんワースト1汚名返上P 工場篇	30秒	13年4月18日木曜日 ~ 13年6月10日月曜日	A	75
			SB	104
			B	53
			C	71
			計	303
肝がんワースト1汚名返上P 漁業篇	30秒	13年4月18日木曜日 ~ 13年6月10日月曜日	A	79
			SB	96
			B	53
			C	72
			計	300
累計130日		13年2月1日金曜日 ~ 13年6月10日月曜日	A	356
			SB	483
			B	239
			C	404
			総計	1482



佐賀県タクシー協会



JAさが  
全支所、バンク



佐賀県薬剤師会  
全薬局



JR佐賀駅



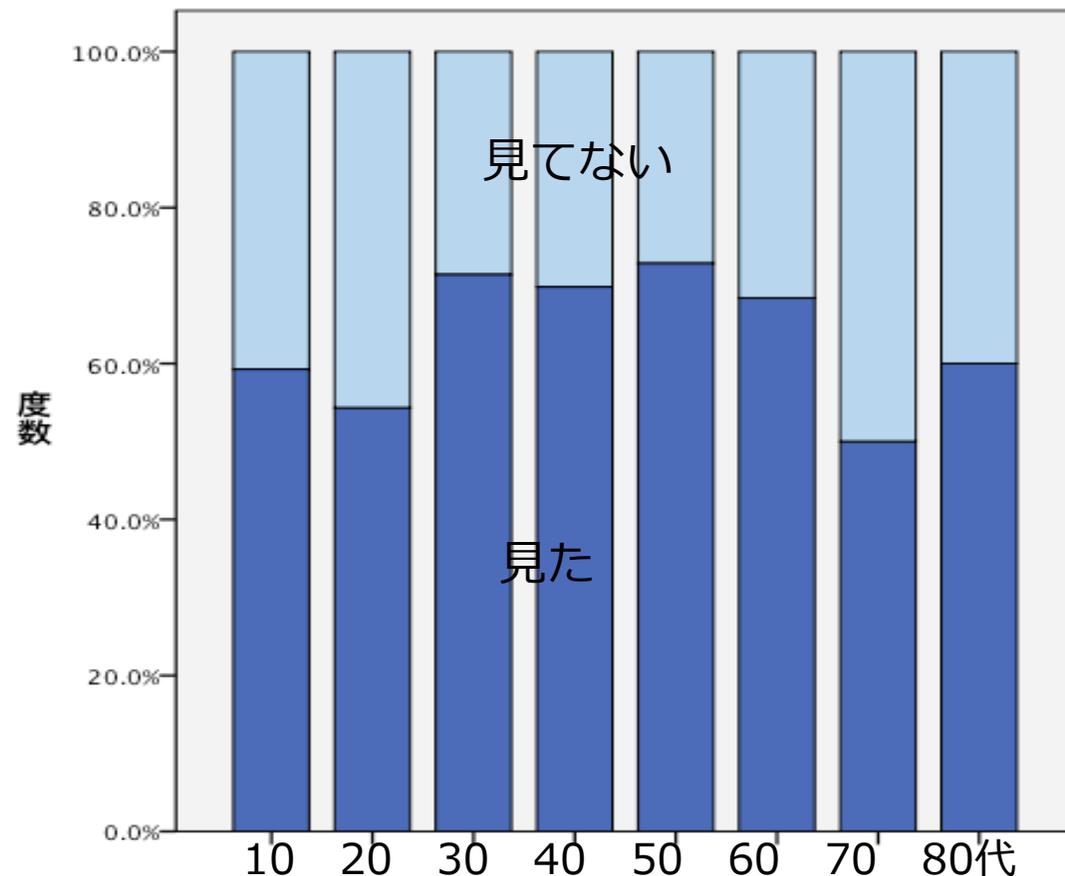
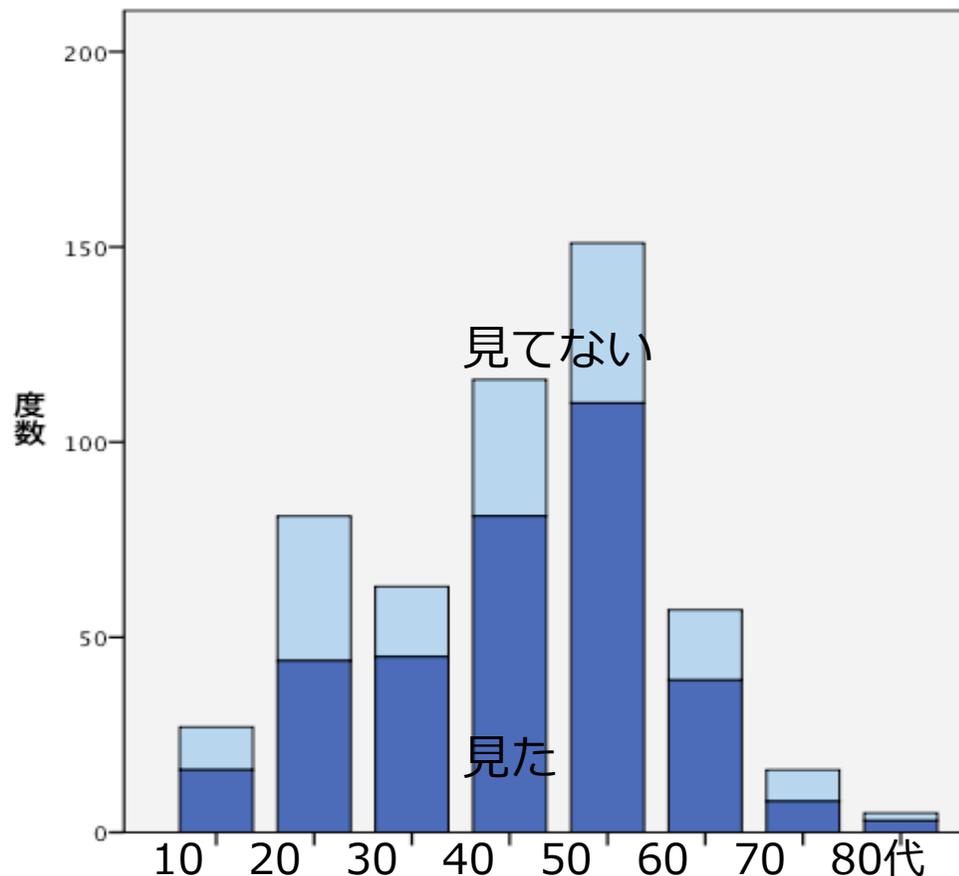
佐賀県商工会  
850企業



佐賀県漁協  
全支所、バンク

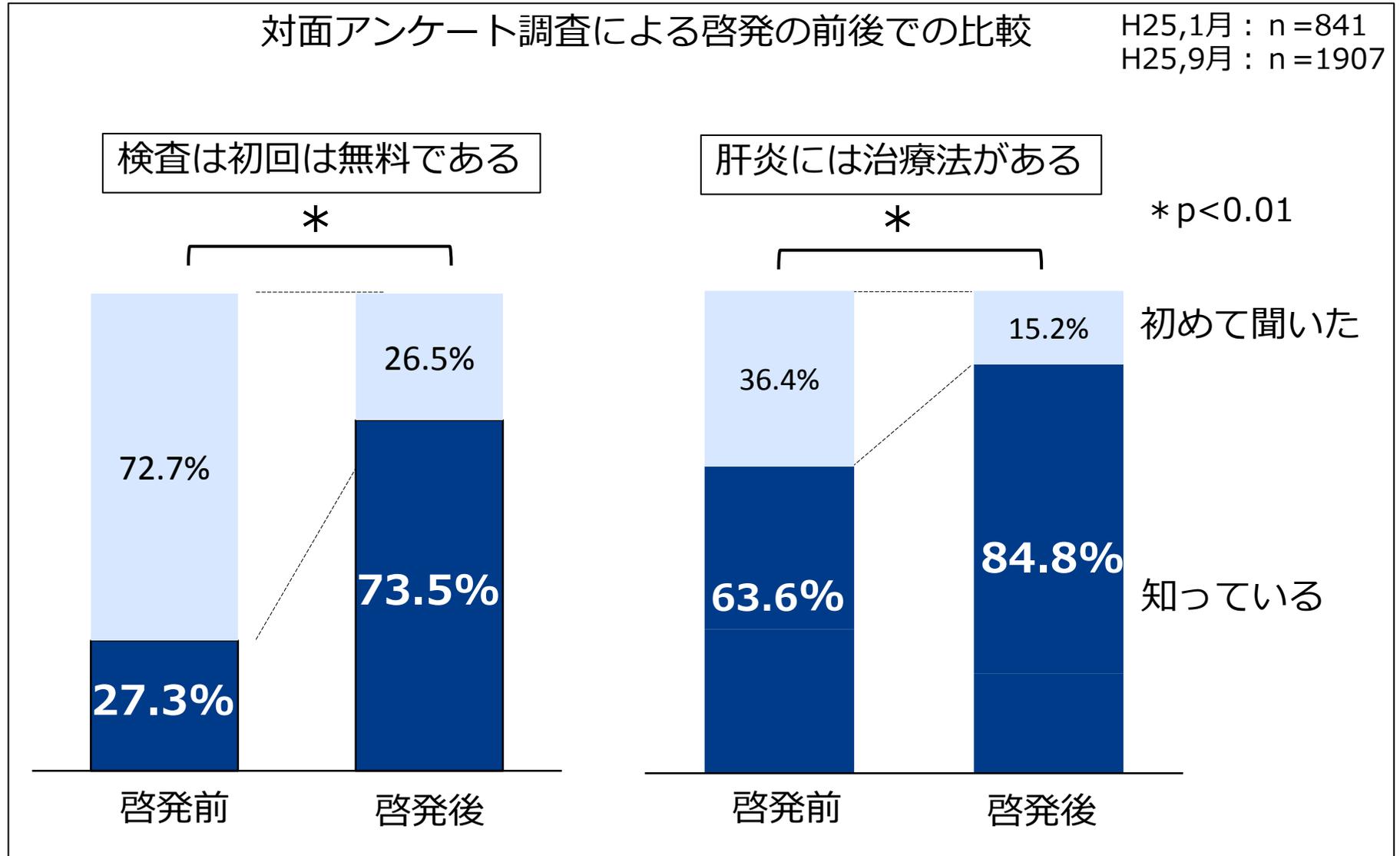
# CM開始2週目の視聴率と年代

放送は3000 GRP（サガテレビ平均視聴率 10%）：一日約10回



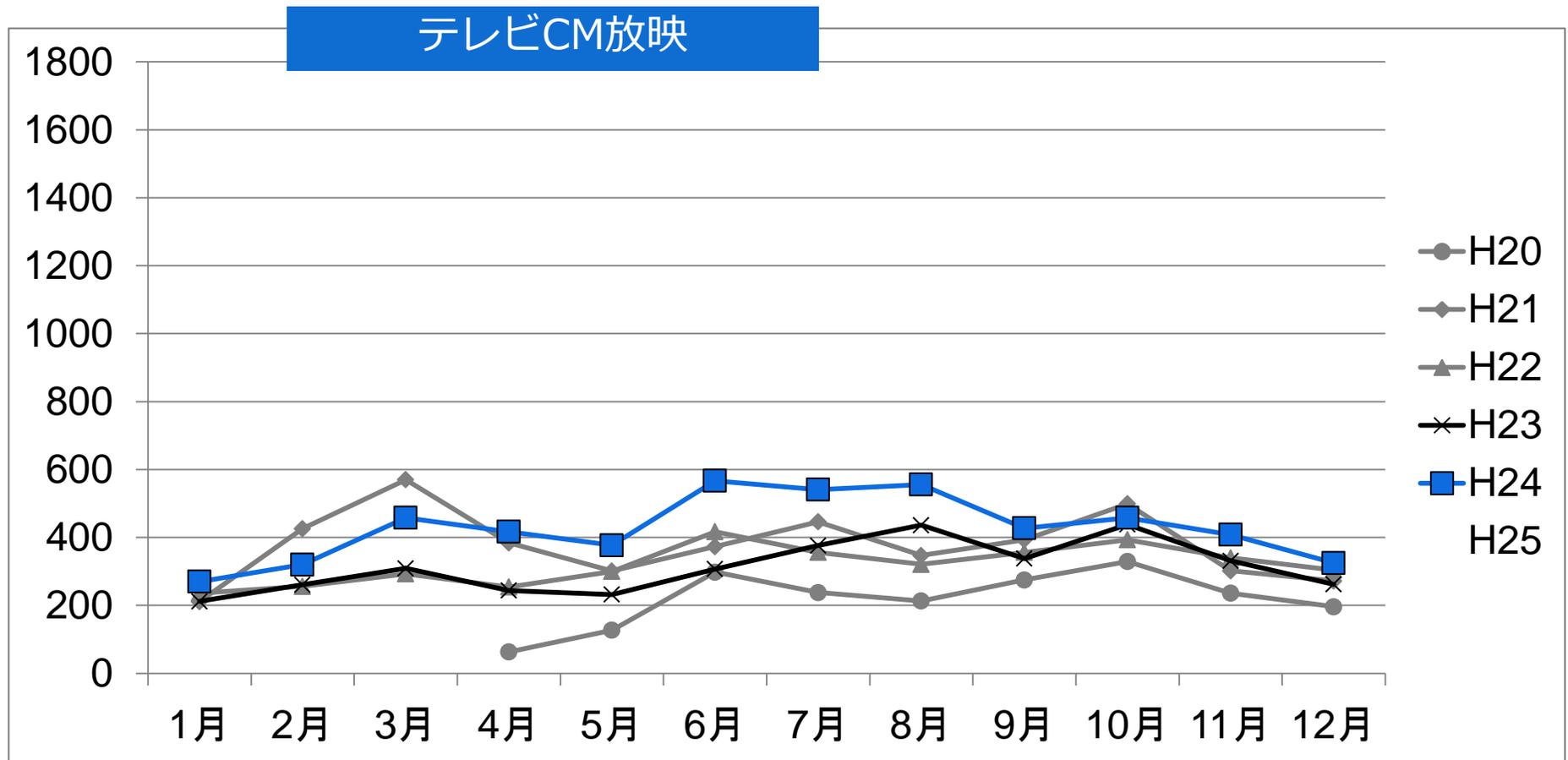
		年代(10代120代2)								合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	
CM見た	.0	11	37	18	35	41	18	8	2	170
	1.0	16	44	45	81	110	39	8	3	346
合計		27	81	63	116	151	57	16	5	516

# メディアミックスと多職種協働の啓発は、検査や治療の認知度向上に寄与することが明らかになった



# 受検率は向上しており、続く受診・受療の精度を上げる仕組み作りを構築しなければならない

県内医療機関における無料検査実施数

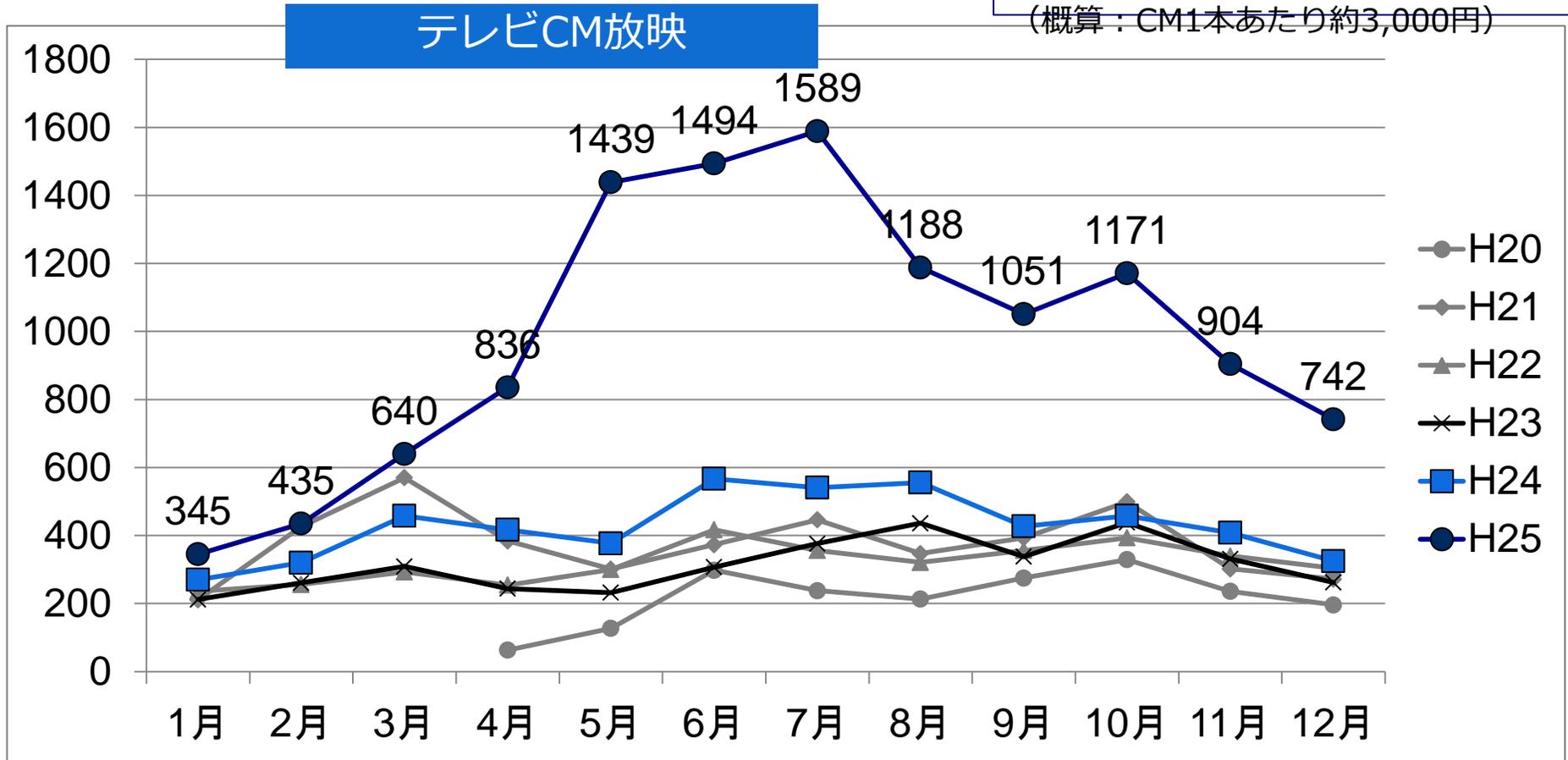


# メディアミックスと多職種協働の情報発信により肝炎ウイルス検査の受検者の増加が確認された

月平均対前年比 H23:98% H24:137% H25:226%

県内医療機関における無料検査実施数

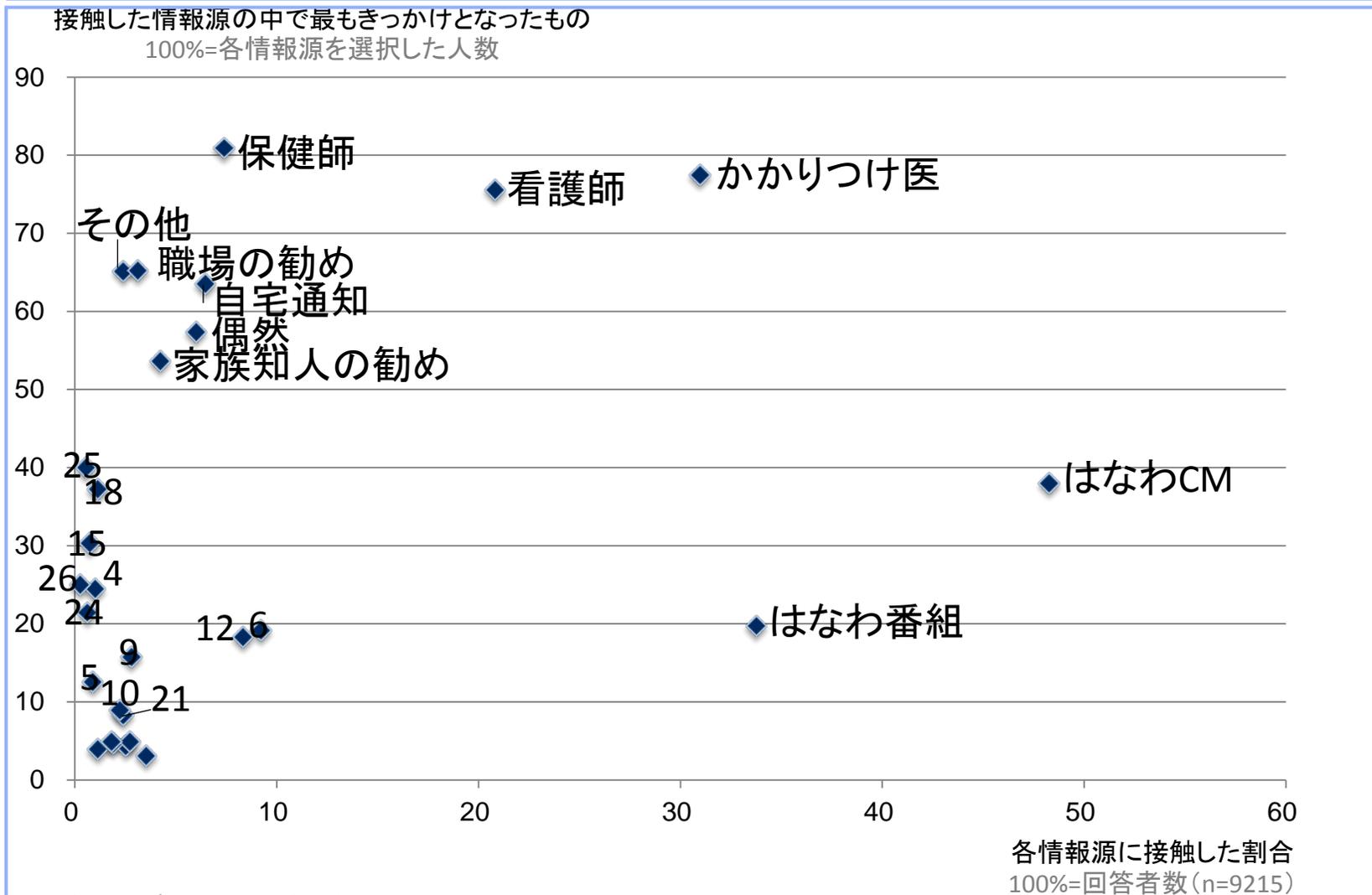
例年1月～12月の検査数は4031件、  
 昨年1月～12月の検査数は11834件、  
 その差は7803件。  
 7803件を7月31日までのCM本数  
 1900  
 CM1本当たり4.1件の受検に寄与  
 (概算：CM1本あたり約3,000円)



**CMへ接触する割合は高いが、受検の直接のきっかけとなっているのは、保健師、看護師、かかりつけ医に加え、職場の勧めや家族知人の勧めである。自宅への通知も有効である。**

肝炎ウイルス検査を受ける際に、参考にした情報源について教えてください  
 受検者対象。「見たことがある」は複数回答、「直接のきっかけとなったもの」は単回答

- 26 イベント
- 25 市民公開講座
- 24 WEB
- 15 その他番組
- 5 薬剤師
- 4 肝Co
- 18 その他CM
- 20 雑誌
- 8 JAポスター
- 13 NHKひるまえ情報便
- 10 その他ポスター
- 21 ラジオ
- 30 その他
- 17 オール巨人CM
- 7 薬局ポスター
- 9 職場ポスター
- 23 職場の勧め
- 19 新聞
- 22 知人家族の勧め
- 29 たまたま
- 11 自宅通知
- 3 保健師
- 12 市民報
- 6 病院ポスター
- 2 看護師
- 1 かかりつけ医
- 14 はなわ番組
- 16 はなわCM



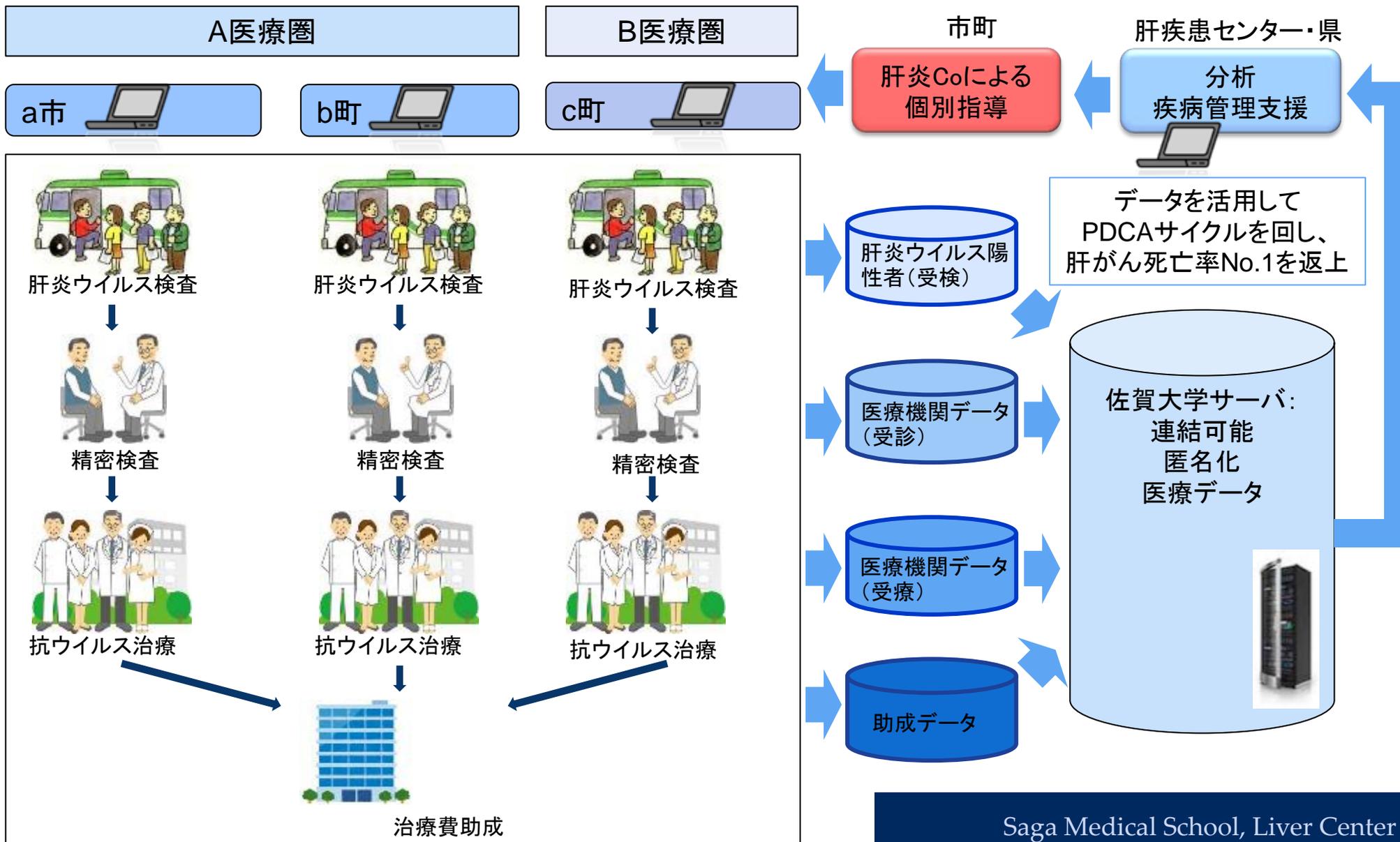
**Step 2: 「受診」**

**Step 3: 「受療」**

陽性指摘後のネクストステップである  
「受診」・「受療」ステップの課題

# 全体最適の評価：佐賀県肝疾患データベース（AEOS）

## 受検—受診—受療を連結可能な匿名化を行いサーバー内で突合

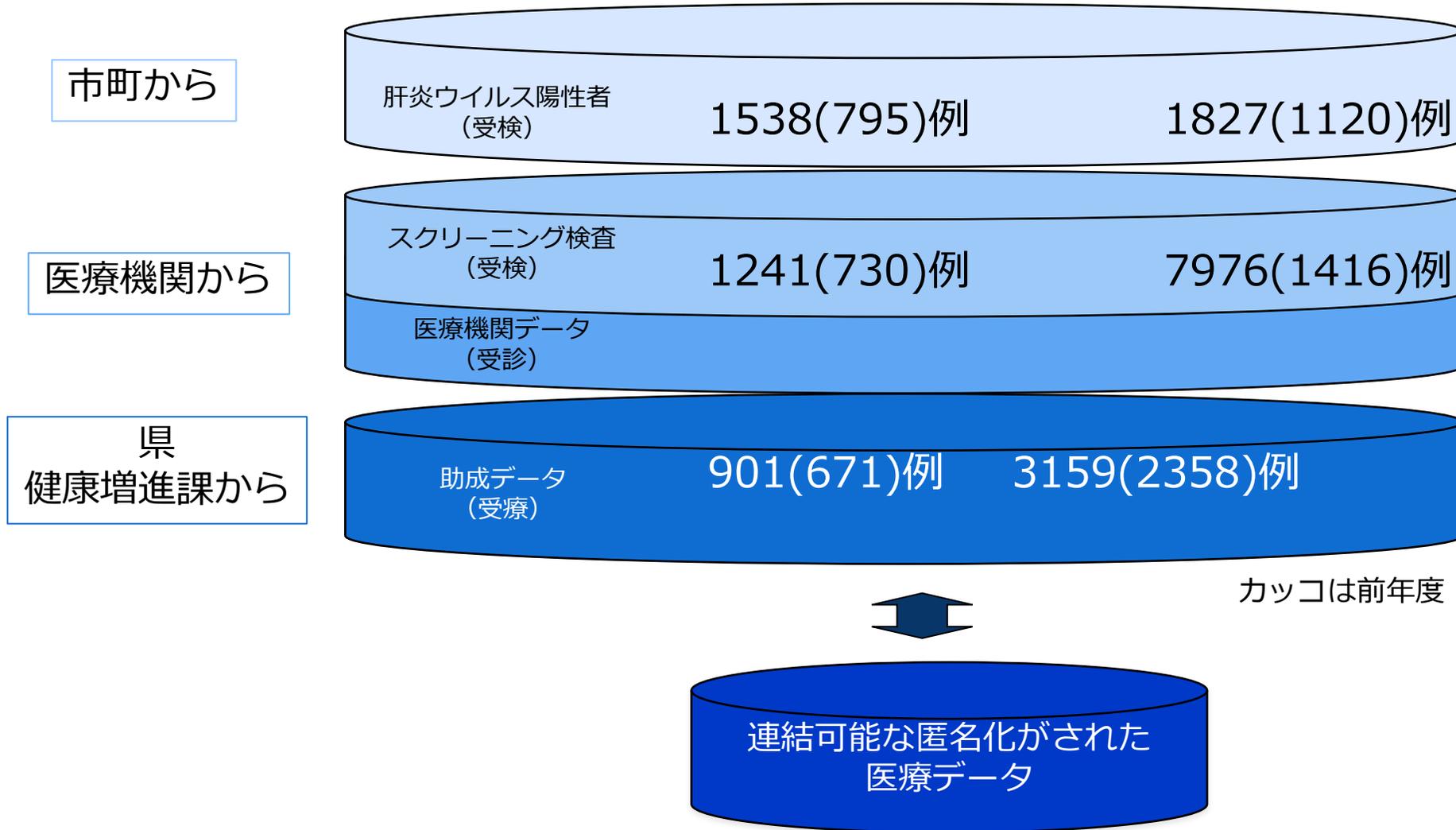


# ウイルス性肝炎データベース事業 H26年度までアップロード完了（佐賀県+高知県）

## 佐賀県のデータ

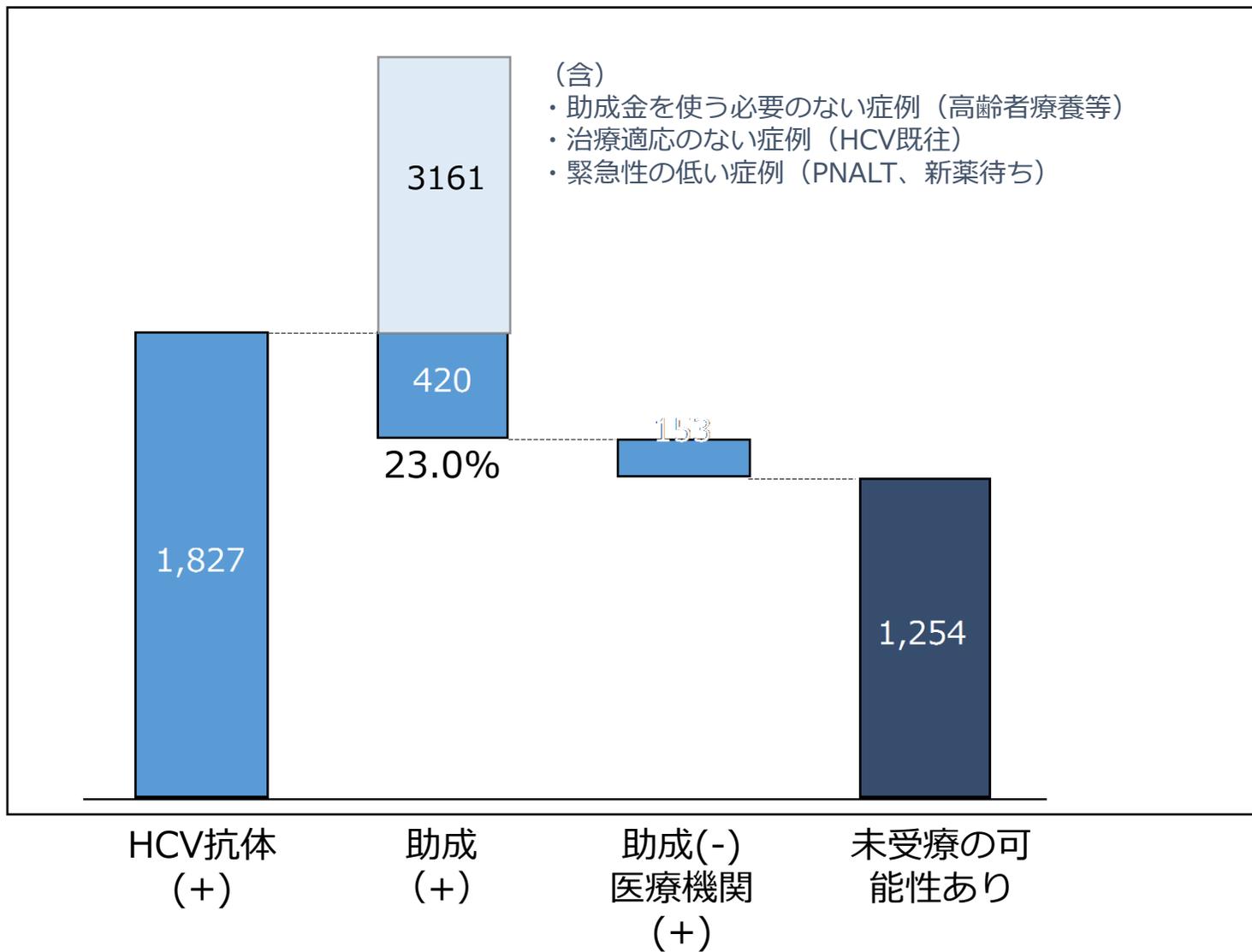
HBs抗原陽性

HCV抗体陽性



# 市町のHCV抗体陽性者の中には未受療者がいる

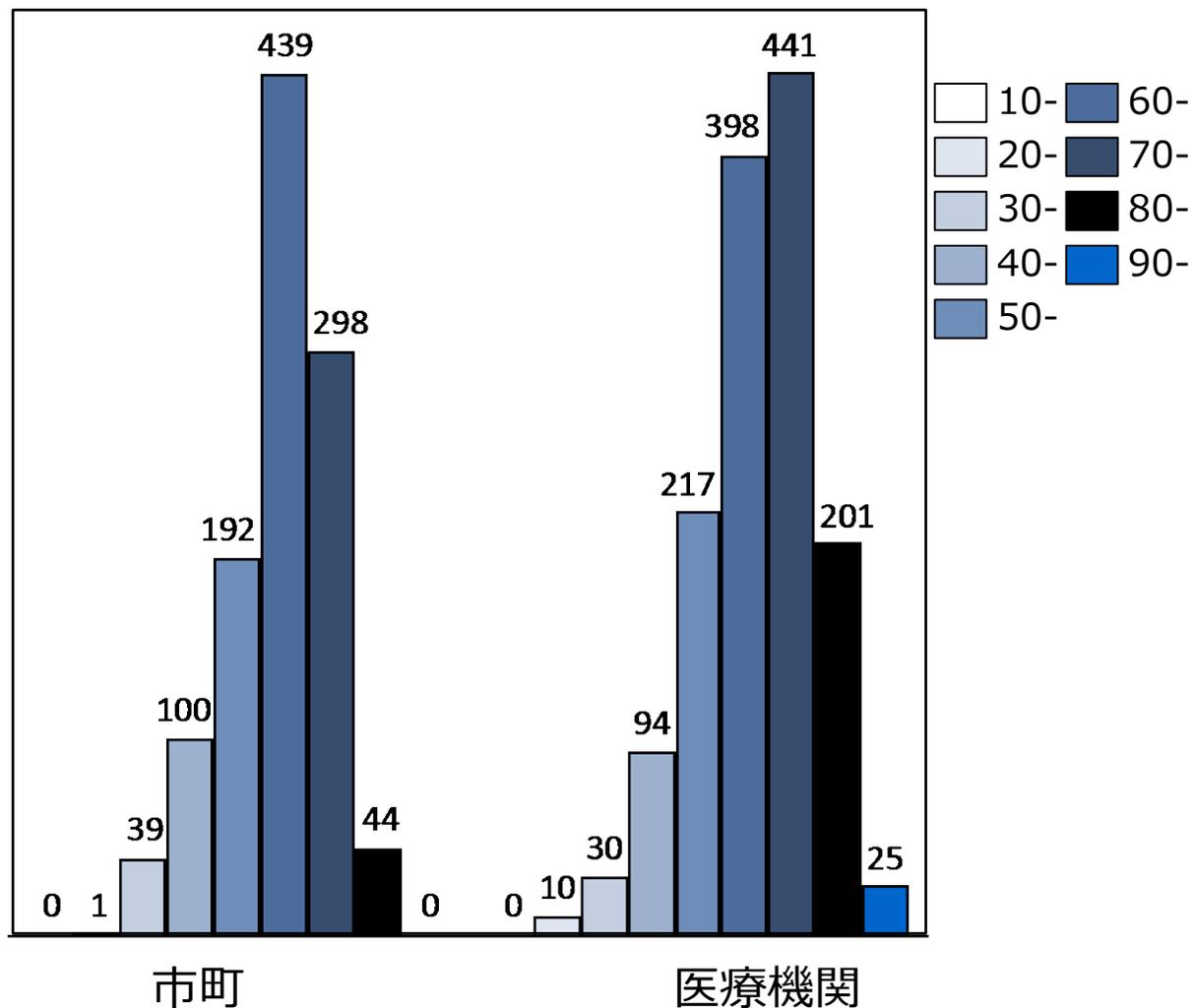
## 市町のHCV抗体陽性者の受療割合



### <HCV抗体陽性者の年齢分布>

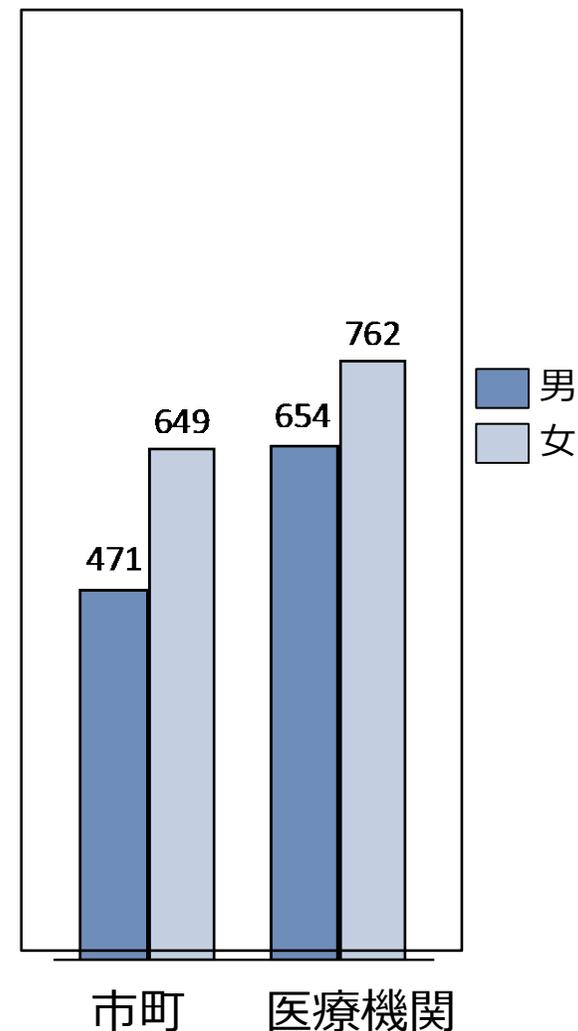
ピーク：60歳代

ピーク：60～70歳代



### <HCV抗体陽性者の男女比>

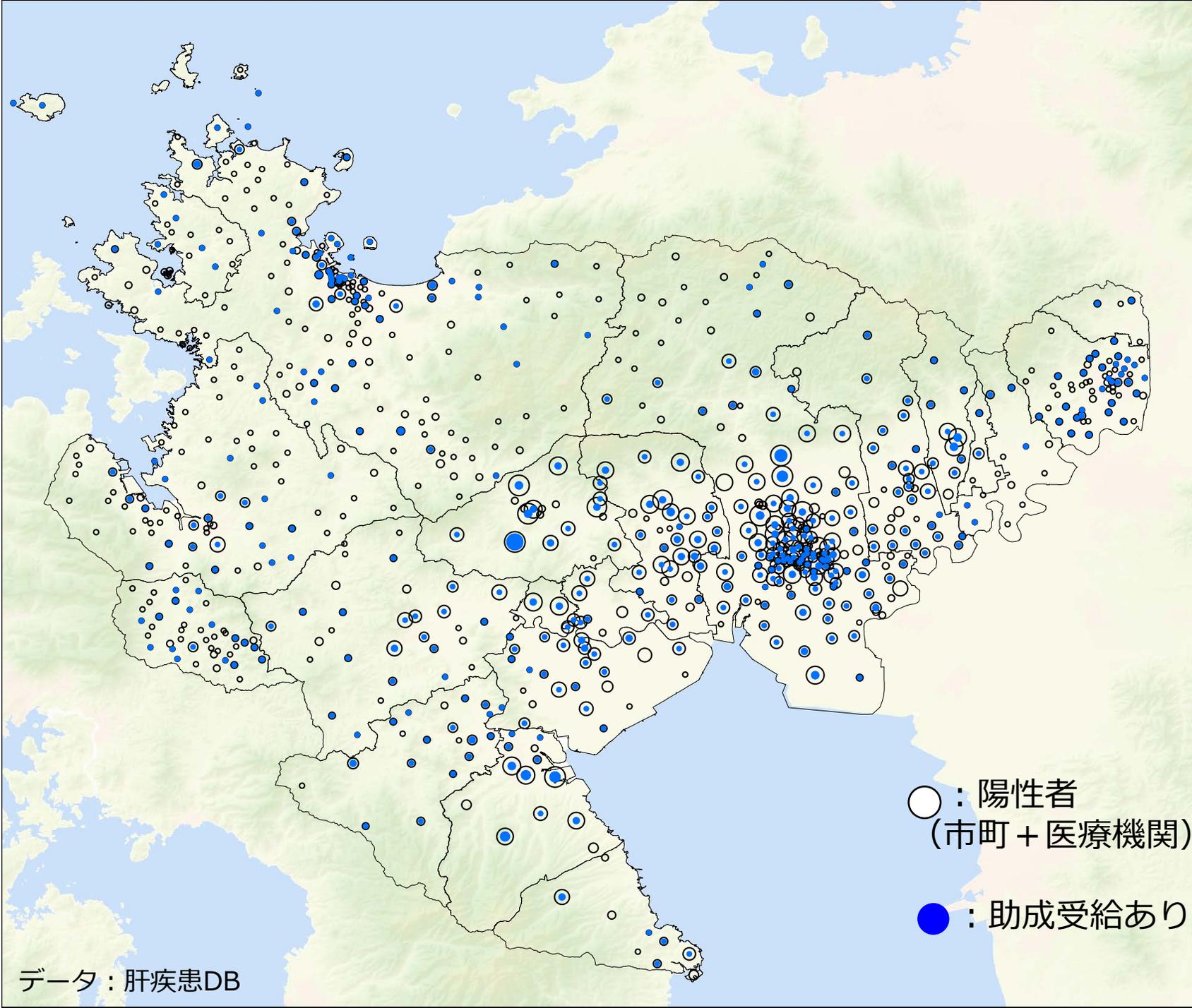
両コホートとも女性優位



# データ供覧

(データベースから抽出ソフトAEOSを使用しデータ抽出後、GISソフトで展開)





○ : 陽性者  
(市町 + 医療機関)

● : 助成受給あり

データ : 肝疾患DB

# 『地域医療再生基金におけるIT活用による地域医療連携について』

ITを導入する以前の段階における留意事項(一部抜粋)

## ヒューマンネットワークの構築

地域医療連携には、医療情報を円滑に連携するための**人的連携を構築する取組みが必要であり**、連携医療を担当する人員の確保とともに、その間の信頼関係が構築されていなければならない。

ITの活用を具体的に検討する際の留意事項(一部抜粋)

## 持続的に運用可能な情報連携ネットワークシステム

新規に情報システムを導入し連携する場合には、持続的に運用することを考慮して、可能な限り**低コストで簡素なシステムを選択すること**。また、特に集中型の連携においては、地域内で連携する**各医療機関間の役割分担を明確化すること**が重要。

## 安価で拡張性のあるインターネットでの接続

将来的な拡張性(他地域の機関や他の疾病の医療連携グループとの分散型情報連携等)及びコスト負担を考慮して、**インターネットによるネットワーク接続を選択することが望ましい**。例えば既存の地域連携サービスへの加入など、安価で簡素な情報連携を実施することが望ましい。

## 外部のシステムとの情報交換機能の整備及び診療情報の標準の採用

将来的にオンラインで情報連携を行うことも考慮し、**標準的なフォーマット・用語コードに沿った形**での診療情報(紹介状には記載されない診療サマリを含む)を、**可搬媒体で読み書きができる形**で連携ができる機能を整備することが望ましい



首相官邸 Prime Minister of Japan and His Cabinet

# 医師からの説明に加え、知人・家族の勧め、看護師・保健師・肝炎コーディネーターからの説明が受診のきっかけとなっている

ウイルス性肝炎の精密検査を始めるにあたり、参考にした情報源について教えてください

精密検査を受診済みの陽性患者が対象。「最も参考になったもの」は単回答

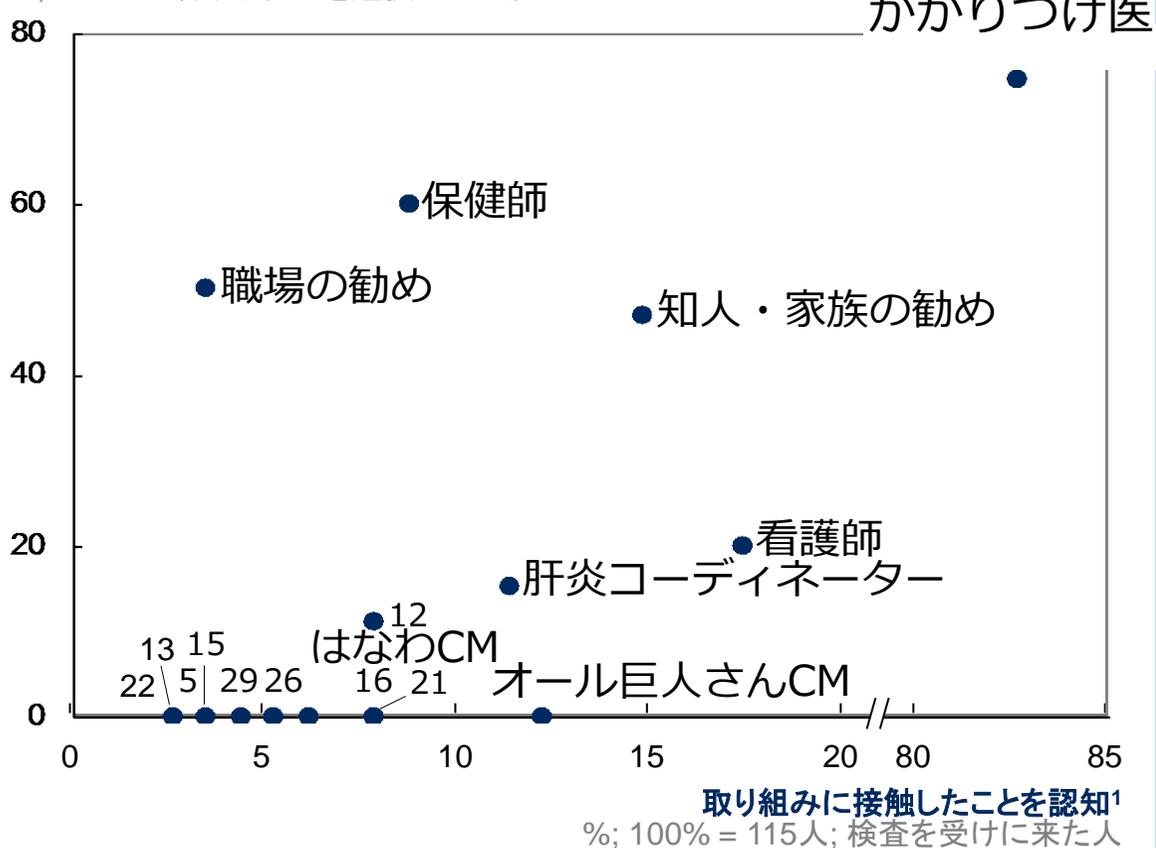
## 取り組み

### Index 説明

1	かかりつけ医からの説明
2	看護師からの説明
24	知人・家族の勧め
19	テレビCM: オール巨人さん
4	肝炎コーディネーターからの説明
3	保健師からの説明
12	市民報(県民・市民だよりなど)
16	テレビ番組: サガテレビはなわさんの3分番組
21	新聞の記事・広告
18	テレビCM: はなわさんと肝ちゃん
26	ウェブサイト
29	書籍
5	薬剤師からの説明
15	テレビ番組: サガテレビ健康バンバン
25	ご自身の職場での勧め
13	テレビ番組: NHKクローズアップ佐賀
22	雑誌の記事・広告

## 接触した取り組みの中で一番効果があったもの

%; 100% = 各取り組みを選択した人数

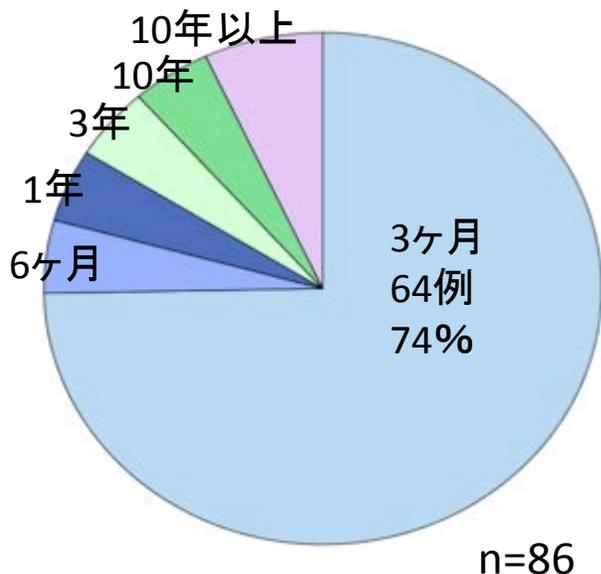


1 認知率が2%以上の取り組みのみ選択した

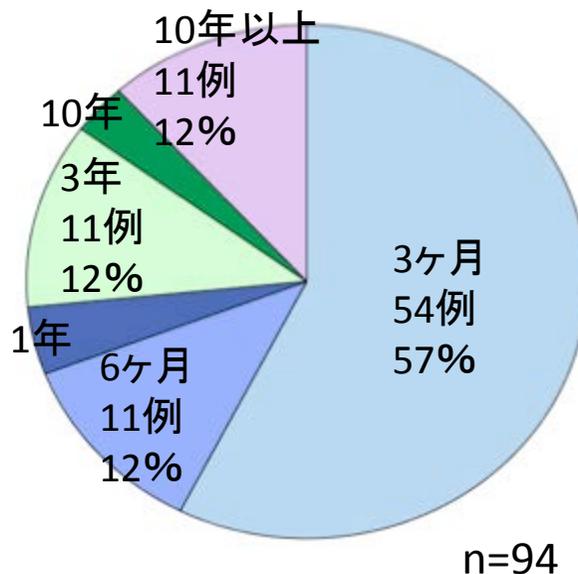


# 受検～受診～受療にかかる期間

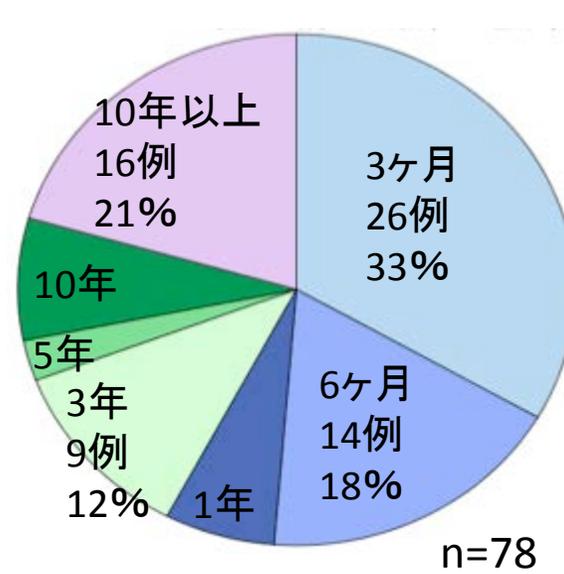
肝炎ウイルス検査  
～ウイルス性肝炎の診察(精査)  
の期間



ウイルス性肝炎の診察(精査)  
～ウイルス性肝炎の治療開始  
の期間



肝炎ウイルス検査  
～ウイルス性肝炎の治療開始  
の期間



受検から治療までにかかる期間は、半分は1年以内。  
半分は1年以上かかり、10年以上経過している例も2割ある。

# 肝炎コーディネーターは、市町、医療機関等で、受検者や患者への説明、支援で活躍中

県内で551名の肝炎コーディネーターを養成  
各地で活躍中（国内最多）

県内5カ所の保健福祉事務所  
20カ所の市町の保健師  
100医療機関の看護師

- ✓□ 啓発活動
- ✓□ 情報提供
- ✓□ 相談支援
- ✓□ 就労支援
- ✓□ 調査支援



## 肝疾患センター

- 養成研修会
- スキル維持・向上と情報のアップデートの支援
  - ・ 各地での研修会・講演会
  - ・ テキスト作成
  - ・ Q&A集作成
  - ・ ドラマ仕立ての動画教材作成



# 佐賀肝炎コーディネーター配置 (H23~H27年 649名養成)

	医療費助成制度が利用できるネットワーク内							ネットワーク以外	
	保健 福祉 事務所	市町	専門医療 機関 (3次医療 機関)	抗ウイルス治 療実施医療機 関(2次医療機 関)	肝炎ウイルス検 査実施医療機関 (1次医療機関)	健診施 設・検査 センター	調剤 薬局	医療 機関	協会けんぽ 県警保健師 企業保健師 キヤスターほか
中部	23	56	75	107	13	34	12	4	16
鳥栖	7	10		39	7			3	
唐津	3	9	37	4	2	6	1		
伊万里	4	13	10	24	2				1
杵藤	8	38	13	43	6	3	3	5	1
その他								4	3

# 多数の肝炎コーディネーターが参画してWorking togetherで説明ツールを開発した



**C型肝炎はどのような病気か**

**Q.** C型肝炎はどのような病気か

**A.** C型肝炎ウイルスが起る病気です。肝臓を傷つけ、肝がんを発症します。

C型肝炎ウイルス (HCV) の構造は、とても小さく、顕微鏡でしか見ることができません。

肝細胞が破壊され、ウイルスに感染し、再生する。健康な肝臓

STOPI 研9A. 私たち肝炎コーディネーターがやさしく解説

**C型肝炎①**

**くわしく解説**

**C型肝炎①**

**ウイルス性肝炎は国内最大の感染症**

日本ではC型肝炎ウイルスに感染している人は約180万人といわれています。C型肝炎ウイルスは血液を介して感染します。現在感染している人のほとんどは、過去の輸血や注射が原因です。かつてはC型肝炎ウイルスに汚染されていた血液製剤による感染もありました。B型肝炎ウイルスより感染力は弱く、性交渉や体液で感染することはほとんどありません。

**主な感染経路**

- 垂直感染 = 出産時の母子感染 (少ない)
- 水平感染

**C型肝炎の自然経過**

急性肝炎発症後、C型肝炎の約80%は慢性肝炎に移行します。C型肝炎の進行は、慢性肝炎(肝臓の硬変)にわけられます。C型肝炎は、慢性肝炎にかかるとされています。しかし、若年層で感染した場合、進行が速いことがわかっています。

長い時間を経て、肝臓の硬変化 (肝臓の硬変) 慢性肝炎 (慢性肝炎)

STOPI 研9A. 私たち肝炎コーディネーター



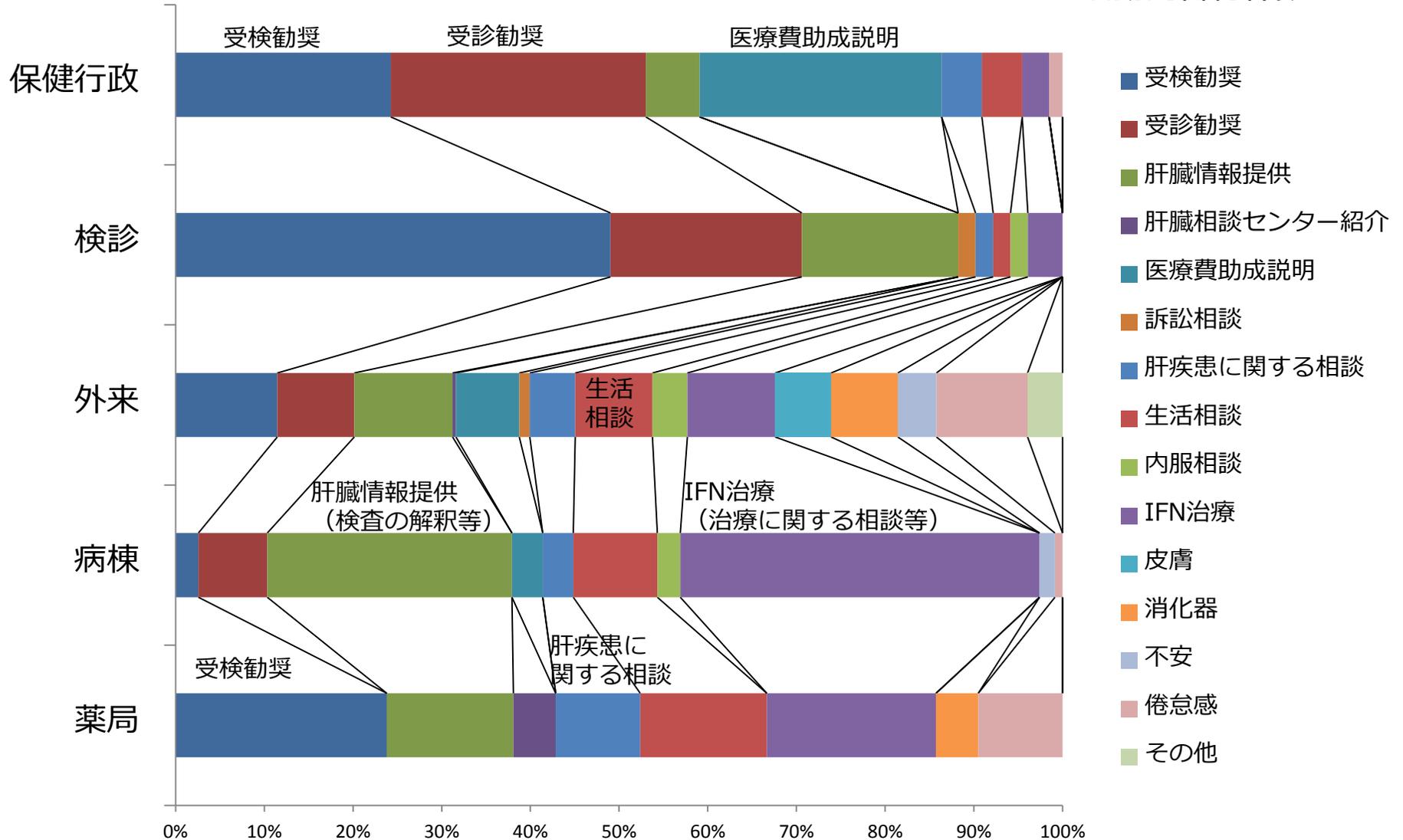
# 肝炎コーディネーターの共通の 活動ログを作成した

(複写式、フォローアップ研  
修会で改修、分析する)

日付		氏名			
月	日	氏名 (イニシャル等)	男・女	年齢	
<b>疾患</b>	<input type="checkbox"/> B型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> C型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> 肝硬変 (B/ C/ その他)	<input type="checkbox"/> 肝がん	<input type="checkbox"/> その他
<b>対応</b>	<input type="checkbox"/> 相談・情報提供				
	<input type="checkbox"/> 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介				
	患者名		担当者名		
	<input type="checkbox"/> 肝臓相談センター紹介				
<b>memo</b>					
日付		氏名			
月	日	氏名 (イニシャル等)	男・女	年齢	
<b>疾患</b>	<input type="checkbox"/> B型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> C型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> 肝硬変 (B/ C/ その他)	<input type="checkbox"/> 肝がん	<input type="checkbox"/> その他
<b>対応</b>	<input type="checkbox"/> 相談・情報提供				
	<input type="checkbox"/> 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介				
	患者名		担当者名		
	<input type="checkbox"/> 肝臓相談センター紹介				
<b>memo</b>					
日付		氏名			
月	日	氏名 (イニシャル等)	男・女	年齢	
<b>疾患</b>	<input type="checkbox"/> B型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> C型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> 肝硬変 (B/ C/ その他)	<input type="checkbox"/> 肝がん	<input type="checkbox"/> その他
<b>対応</b>	<input type="checkbox"/> 相談・情報提供				
	<input type="checkbox"/> 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介				
	患者名		担当者名		
	<input type="checkbox"/> 肝臓相談センター紹介				
<b>memo</b>					
日付		氏名			
月	日	氏名 (イニシャル等)	男・女	年齢	
<b>疾患</b>	<input type="checkbox"/> B型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> C型慢性肝炎	<input type="checkbox"/> 肝硬変 (B/ C/ その他)	<input type="checkbox"/> 肝がん	<input type="checkbox"/> その他
<b>対応</b>	<input type="checkbox"/> 相談・情報提供				
	<input type="checkbox"/> 医療機関 or 肝炎コーディネーター紹介				
	患者名		担当者名		
	<input type="checkbox"/> 肝臓相談センター紹介				
<b>memo</b>					

# 肝炎コーディネーターの相談内容はステップによって異なる →職種・部署を活かし、どのステップでも安心を届ける

活動内容総件数 516件





## 肝炎コーディネーター ベストプラクティス 教材「桜の咲くころには」【本編】



佐賀肝臓

✓ Subscribed 18

1,243

+ Add to    ➦ Share    ⋮ More

👍 7    🗨️ 0

Published on Aug 16, 2013

肝炎コーディネーターが教材の活用方法を観て学べるよう、VTRを制作しました。こちらはその本編です。

<ストーリー>健康には自信があった雅俊、知人と家族の勧めもあり「肝炎ウイルス検査」を受けるこ

「知って、肝炎」 インフォーマーシャル (佐賀)

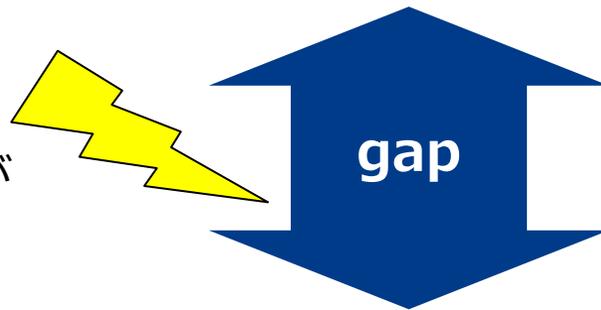
<https://www.youtube.com/watch?v=yfyrgytophk>

# 一般市民と医療者のEvidence practice gap

エビデンスによって指示されたメッセージが「ガイドライン」として生活者に提供

エビデンス：客観的で再現性に富む、他者が有していた情報資産

Gapの補完には、Social marketing手法が有効ではないか



生活者には「他人事」（エビデンスとは無関係のインサイト）に支持された「マインドライン」がある

- ・自身の経験や思い込み（belief system, 潜在意識下に刷り込まれた信念体系）
- ・さまざまな交絡因子（confounding factor）

# 社会行動医学的検討→ソーシャル・マーケティング手法を用いて 効果的な勧奨方法・メッセージの開発

「いいものを作れば売れるという時代は終わった。  
顧客を知ることが大切である」

Philip Kotler, 2013, 6,17  
コトラーカンファレンス（東京）

## ソーシャル・マーケティングにおける 3ステップ

- (1) セグメンテーション
- (2) ターゲッティング
- (3) ポジショニング

# 肝炎フォローアップに係る調査 実施概要

	目的	調査対象者	実施時期
陽性者 インタビュー調査①	仮説の構築 (半構造化面接)	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門医にかかっている肝炎陽性者 (13名)</li> </ul>	2014年 6月～7月
陽性者 インターネット調査①	定量的検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>B型肝炎治療経験者(n=104)</li> <li>C型肝炎治療経験者(n=122)</li> <li>未受療者 (n=263)</li> <li>未受診者(n=119)</li> </ul>	2014年 11月
陽性者 インタビュー調査②	仮説の構築 (半構造化面接)	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝炎陽性の受療者 (8名)</li> </ul>	2015年 4月
	仮説の構築 (半構造化面接)	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝炎陽性の定期受診者 (7名)</li> <li>肝炎陽性の未受診者 (7名)</li> </ul>	2015年 9月
陽性者 インターネット調査②	定量的検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>B型肝炎陽性者 (n=309)</li> <li>C型肝炎陽性者 (n=272)</li> </ul>	2015年 6月
医師 インタビュー調査	仮説の構築 (半構造化面接)	<ul style="list-style-type: none"> <li>かかりつけ医 (14名)</li> <li>肝臓専門医 (9名)</li> </ul>	2016年 1月
医師 インターネット 調査	定量的検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師パネル登録の内科医 (n=214)</li> <li>※消化器内科 (胃腸内科) ・肝臓内科を除く</li> </ul>	2016年 2月～3月

# 届けるべき人\*に響くメッセージを伝えることが 行動変容に効果的→「ソーシャルマーケティング」

調査前の仮説

**治療の負担**が障害となり、陽性とわかっているにもかかわらず治療に至らない

調査結果（質的調査＋量的調査および行動心理学的解析）

**心理的な要因**「**重大性・必要性・緊急性**」を認知していない

効果的に受療を促進するためには、  
医療のみならずマーケティングの理論を  
応用して、対象者に合わせた情報発信が不可欠

**精検・治療を思いとどまっている陽性者に必要な理解  
「必要性」・「重大性」・「緊急性」の訴求**

# たたけ！ 肝炎ウイルス



肝がんを防ぐために、  
あなたができる唯一の方法です。

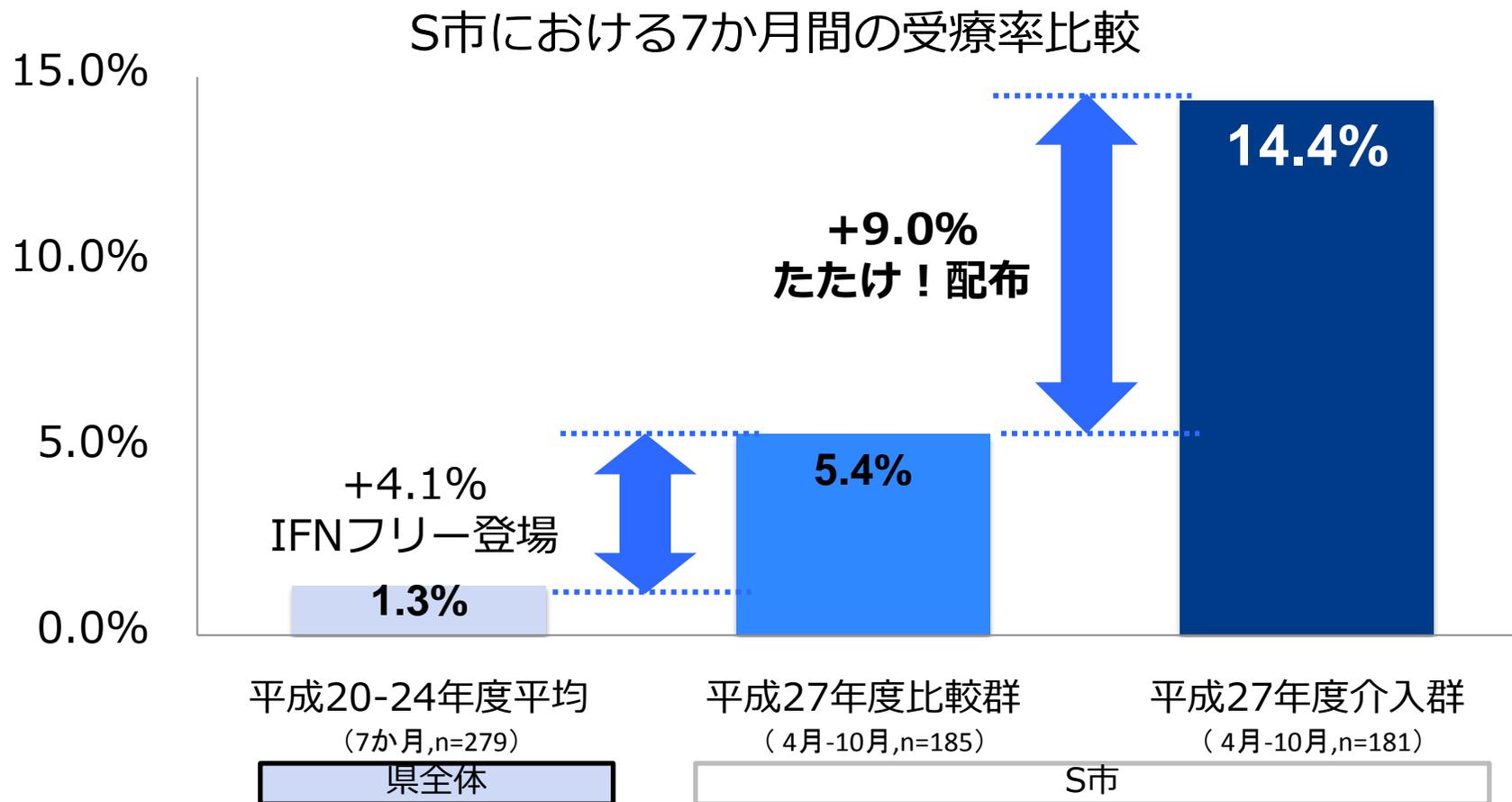
肝炎ウイルスは、放っておいても消えません。  
それどころか、肝炎、肝硬変、肝がんへと  
進む原因になります。

一人で悩んでいないで、まずは肝臓なんでも相談窓口へお電話ください。

月～金（祝日除く） 10:00～16:00 **0952-34-3731**（佐賀大学医学部  
肝疾患センター内）

Saga Medical School, Liver Center

# 受療率の比較



# ソーシャルマーケティング手法を用いた産業保健に関わる 保健師および担当者のためのウイルス性肝炎対策Q&A集 作成を目指した調査研究

主任研究者 佐賀産業保健総合支援センター 産業保健相談員 江口 有一郎  
研究分担者 佐賀産業保健総合支援センター 所長 徳永 剛

産業保健相談員 後藤 英之

産業保健相談員 木村

裕美

産業保健に携わる保健師・看護師の方へ



産業保健の現場における

# ウイルス性肝炎 フォローアップ マニュアル



# 労働者のこんな声、 どのように対応していますか？

- 「肝炎の検査って受ける必要性あるの？」
- 「健康診断の肝機能の数値に異常はないから大丈夫!？」
- 「仕事が忙しいから、病院に行く暇がなくて…」
- 「治療するとなると、職場の人に知られてしまうし…」

独立行政法人労働者健康安全機構

**佐賀産業保健総合支援センター**

平成28年3月発行

## 肝炎フォローアップマニュアル配布先

	配布数	
佐賀県医師会	1,391	県医師会報に同封【医師会員】 理事会において了承ののち同封
佐賀県看護協会	5,700	会員所属医療機関等へ配布（200医療機関機関）
佐賀県	50	健康増進課 県内各保健所
労働局・各署	250	局50部 各署4×50部
センター保有	200	調査研究報告書配布先 （本部 5部）（各センター47都道府県） （県内郡市医師会8機関）
肝炎コーディネーター		肝疾患センター

# 作成中の資料

3つ折りにして母子手帳に挟む

## 困った時のお役立ち連絡先



夜間や休日に体調が悪くなったり、ケガをしたときは、まずかかりつけ医に連絡をするか、1の小児救急医療電話相談をできる限りご利用ください。

 <b>1</b> 小児救急医療電話相談 お子さんの夜間のケガ・急病等の際、応急対処の方法や受診が必要かどうか等について助言を行います。	 <b>西部保健医療圏</b> 伊万里休日・夜間急患医療センター 0955-23-9910 [診療時間] <夜間>平日●午後8時～10時(小児科) <休日>日、祝、12月31日～1月3日 ●午前9時～午後5時(内科、外科、小児科) ※土曜休診
対象者●佐賀県内に居住するおおむね15歳未満の子供の保護者等 時間 ●毎日午後19時～午後23時(年中無休) 相談先●携帯電話/プッシュ回線:#8000 その他の固定電話回線:0952-24-2200	
 <b>2</b> 休日、夜間などの小児の受診医療機関 (急な熱や咳、かぜ、下痢、嘔吐、腹痛など軽症の場合)	 <b>南部保健医療圏</b> 武雄地区休日急患センター 0954-22-5599 [診療時間] 日・祝●午前9時～午後5時 鹿島市休日子どもクリニック 0954-63-1838 [診療時間] 日曜、祝日、正月1/1～1/3 ●午前9時～午後5時
 <b>中部保健医療圏</b> 佐賀市休日夜間子ども診療所 0952-36-9174 [診療時間] 平日●午後8時～午後10時 土曜日●午後5時～午後10時 日曜日・祝日・12月31日～1月3日●午前9時～午後10時まで	 <b>南部地区小児時間外診療センター</b> 0954-22-5599 [診療時間] 月・木・金・土・日・祝 ●午後7時～午後9時
 <b>東部保健医療圏</b> 鳥栖市休日救急医療センター 0942-83-0119 [診療時間] 日曜日、休日、1月2・3日、12月31日●午前9時～午後7時	 <b>南部地区小児時間外在宅当番医</b> 0954-22-4207 [診療時間] 火曜日(正月1/1～1/3は除く) ●午後7時～午後9時 (杵藤地区消防本部)
 <b>北部保健医療圏</b> 唐津救急医療センター 0955-75-5199 [診療時間] 日、祝、振休、12月31日、1月2・3日●午前9時～翌朝6時 1月1日●午前10時～翌朝6時	 <b>鹿島時間外子どもクリニック</b> 0954-63-1838 [診療時間] 水曜日(正月1/1～1/3は除く) ●午後7時～午後9時

妊娠、出産に  
影響する  
感染症って？

妊婦健診後、  
何に気をつけたら  
いいの？

妊婦健診の検査結果は  
母子手帳の「検査の記録」のページに  
記載されます。

特に赤ちゃんに影響のある  
感染症(母子感染症)は、  
感染していなくても、今後も注意が必要です。

捨てられにくい工夫  
小児救急に関する情報などの記載

# 感染症の啓発

## 結果に対し、次への行動を想起できる内容

### 母子感染を起こす 主な感染症と対策方法

監修  
佐賀大学 肝疾患センター  
公益社団法人  
佐賀県産婦人科医会

ご相談先  
(平日のみ)



1 かかりつけの産科医へご相談を

2 佐賀大学 肝臓なんでも相談センター  
0952-34-3731 (10:00~16:00)

3 佐賀大学HTLV-1専門外来 0952-34-3786 (9:00~17:00)

4 佐賀大学医学部附属病院 0952-31-6511 (9:00~17:00)  
佐賀県医療センター好生館 0952-24-2171 (8:30~17:15)

梅毒血清反応	梅毒検査です。 お母さんは出産前に抗生剤で治療します。	+	感染している (可能性がある)	→お母さんの治療が必要。パートナーの検査も必要	1
		-	感染していない	→性交渉により、パートナーから感染(性感染症など)する可能性があるため、妊娠中・出産後も注意が必要。	1
HBs抗原	肝臓を壊すB型肝炎ウイルスの検査です。 出産時に赤ちゃんにうつる可能性がありますが、ワクチンなどの適切な処置で感染をほとんど防げます。お母さん自身は、放っておくと肝硬変や肝がんになる可能性があるため、定期的な検査をおすすめします。	+	感染している (可能性がある)	→お母さんの治療が必要。パートナーの検査も必要	2
		-	感染していない	→性交渉により、パートナーから感染(性感染症など)する可能性があるため、妊娠中・出産後も注意が必要。	2
HIV抗体	エイズの検査です。 陽性が疑われれば精密検査を行います。 結果は直接医師がお伝えします。	+	感染している (可能性がある)	→お母さんの治療が必要。パートナーの検査も必要	4
		-	感染していない	→性交渉により、パートナーから感染(性感染症など)する可能性があるため、妊娠中・出産後も注意が必要。	4
クラミジア抗原	クラミジアという病原体の検査です。 出産時に赤ちゃんにうつり、結膜炎・咽頭炎・肺炎・中耳炎などが起きます。 出産前に抗生剤で治療を行います。	+	感染している (可能性がある)	→お母さんの治療が必要。パートナーの検査も必要	1
		-	感染していない	→性交渉により、パートナーから感染(性感染症など)する可能性があるため、妊娠中・出産後も注意が必要。	1
HCV抗体検査	肝臓を壊すC型肝炎ウイルスの検査です。 出産時に赤ちゃんにうつる可能性があります。 出産方法は主治医が判断します。陽性であれば精密検査をします。 ウイルスがいれば、お母さんの治療が必要です。	+	感染している (可能性がある)	→お母さんの治療が必要	2
		-	感染していない	→多くの場合、今後も心配はない	2
β群溶血性連鎖球菌(GBS)	お母さん自身には影響はありませんが、 赤ちゃんにうつると、肺炎や髄膜炎を起こす可能性がありますので 出産前に抗生剤で治療します。	+	感染している (可能性がある)	→お母さんの治療が必要	1
		-	感染していない	→多くの場合、今後も心配はない	1
HTLV-1抗体	九州地方に多く、白血病や神経の病気になることもあります。 出産時や母乳を通じて感染します。	+	感染している	→母子感染の予防が必要	3
		-	感染していない	→多くの場合、今後も心配はない	3
風疹ウイルス抗体	風疹ウイルスにかからないようにする抗体があるかないかの検査です。	-	感染を防ぐことができない	→妊娠中は風疹ワクチンの接種ができません。お母さんに感染しないよう、感染予防が必要です。同居家族は予防接種をしましょう。	1
		+	感染を防ぐことができる	→抗体(+)でも抗体量が少ない(16以下)方は、感染する可能性があります。外出を控える、マスクや手洗いをするなど感染予防に気を付けましょう。	1

具体的な連絡先も記載  
感染症により、相談窓口が違うため

# 今後の展開：佐賀県のすべてのお母さんへ対面指導

佐賀市

- 佐賀県産科医会の承認：済
- 佐賀市の承認：済

2016年4月～使用予定

効果測定



1歳半健診での健診で評価

県内の市町

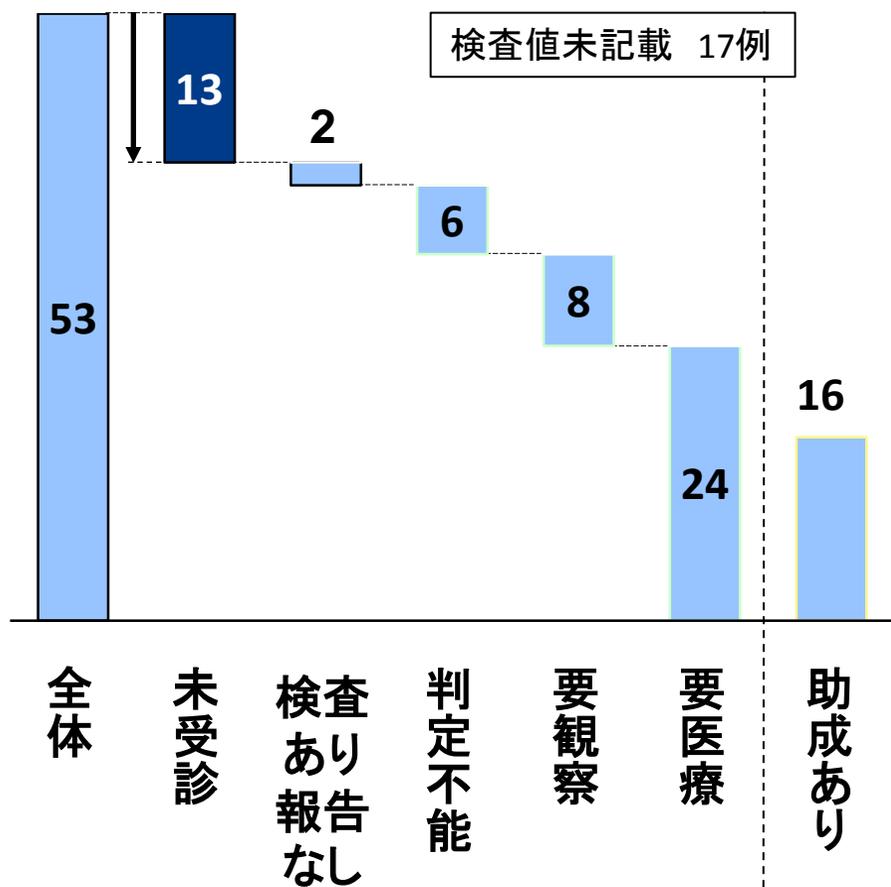
- 各市町での承認：  
今回県下一斉にできないかということで  
母子健康福祉課へのアプローチ中  
母子健康福祉課→県下の保健所への予定

- 今後の展開によって毎年更新、印刷など。
- 県健康増進課や福祉課などとの協力。

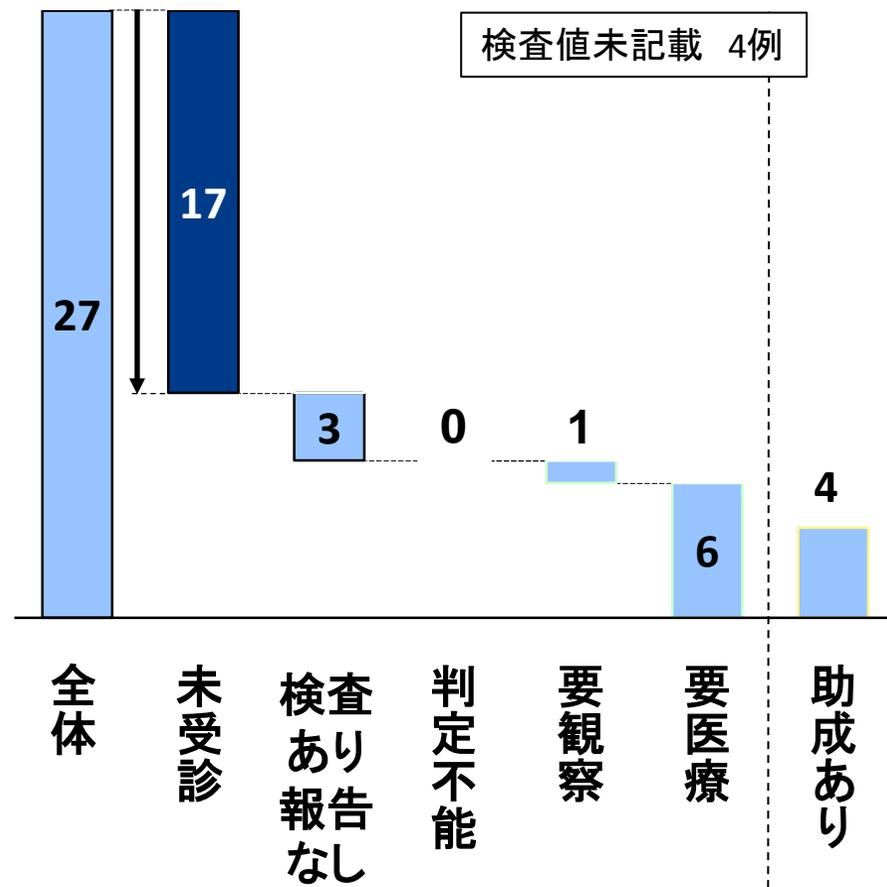
# 拠点病院のこれから

# H26年度（C型）医療機関は未受診減少、職域は精検受診改善なし

## 医療機関



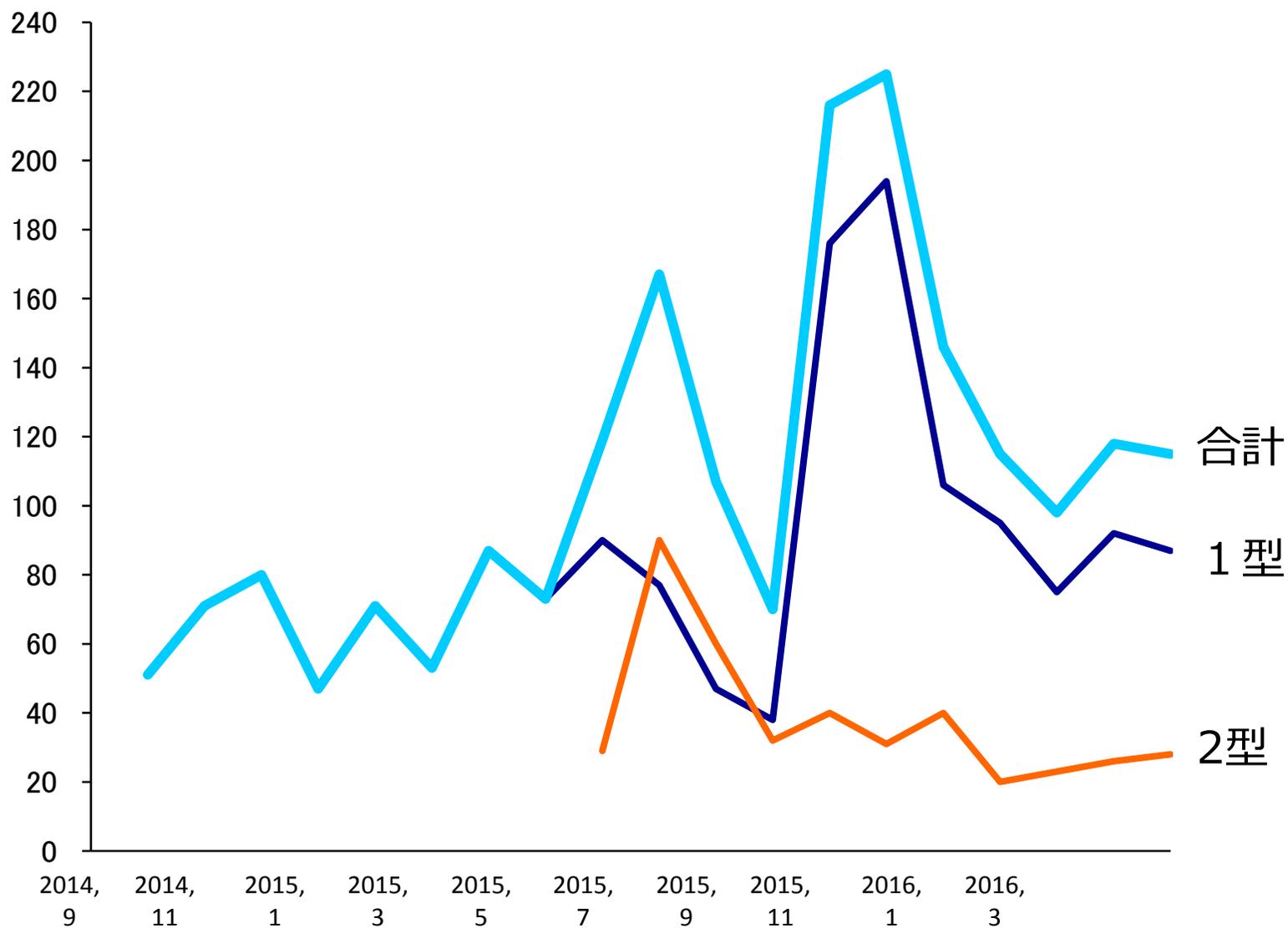
## 職域



陽性率1.14%	H25	H26
精密検査受診率	58.7%	<u>75.5%</u>
治療率（受診者中）	40.9%	40.0%

陽性率0.35%	H25	H26
精密検査受診率	28.6%	<b>37.0%</b>
治療率（受診者中）	75.0%	40.0%

# DAA治療費助成申請の推移\_月別 (2014.9-2016.4)



# 佐賀県では毎日1人が肝がんで亡くなっています

24年度年佐賀県プロジェクト開始

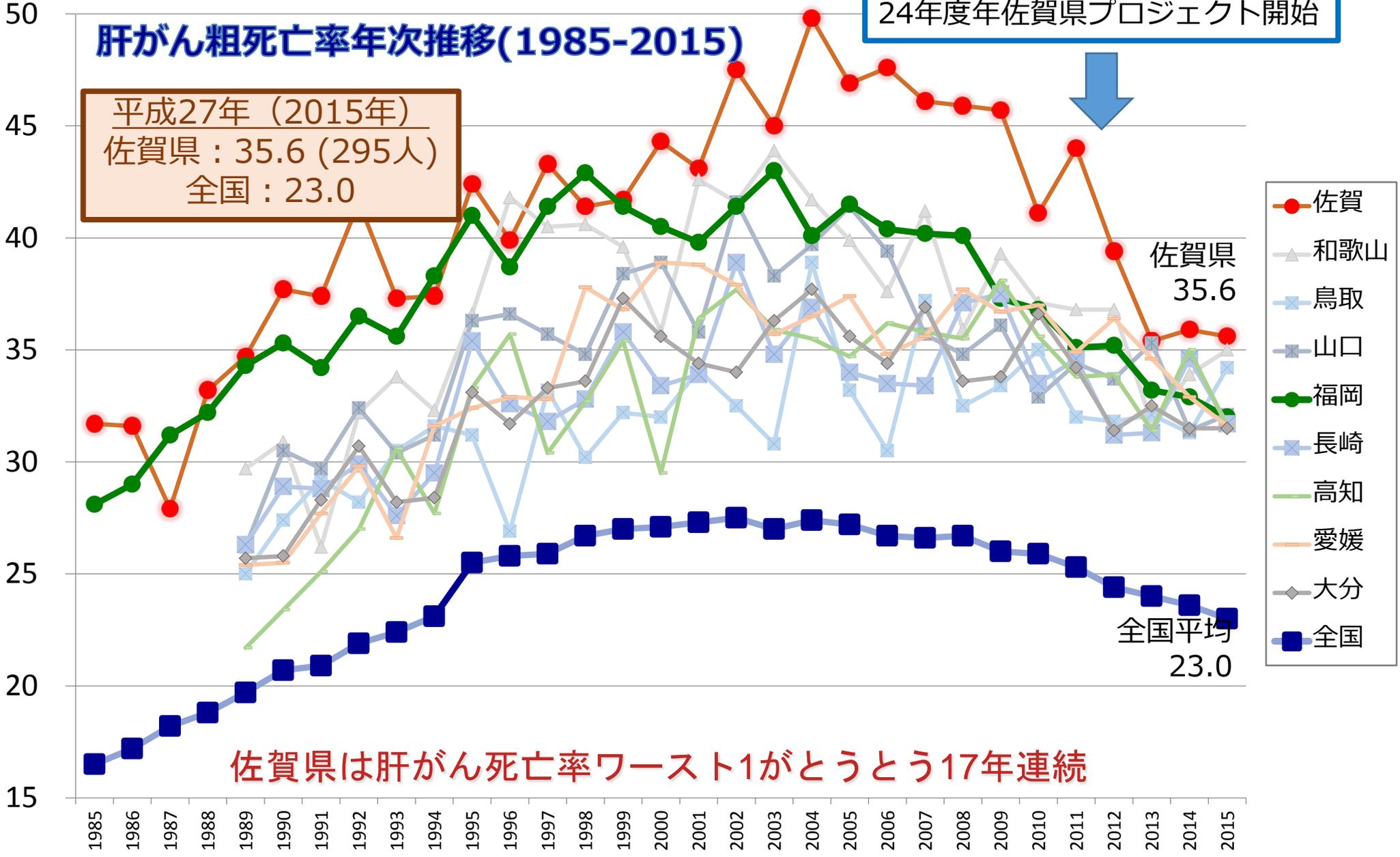
## 肝がん粗死亡率年次推移(1985-2015)

平成27年 (2015年)  
佐賀県 : 35.6 (295人)  
全国 : 23.0

佐賀県  
35.6

全国平均  
23.0

佐賀県は肝がん死亡率ワースト1がとうとう17年連続



# 「肝疾患診療体制の強化」における 拠点病院の役割とは？

# 優良事例から学ぶことの重要性

肝炎情報センターからの各地の  
取り組みの紹介と展開（新HP紹介）



肝炎情報センターとは

ユーザ別で探す

カテゴリ別で探す

お問い合わせ

平成28年熊本地震関連情報

## 肝炎情報センターの ミッション(使命)

**連携**  
**情報**  
**研修**

— 肝疾患診療連携拠点病院とともに  
— 肝疾患診療のソフトウェア・リソース  
— 明日の肝疾患診療・相談業務に活かす

### ユーザー別で探す

一般・患者の方へ

保育関係者の方へ

高齢者施設の方へ

働く方へ

産業保健関係者の方へ

医療関係者の方へ

肝疾患診療連携拠点病院関係者の方へ

### カテゴリ別で探す

センターの取り組み

拠点病院の取り組み

都道府県の取り組み

病気について

医療制度・医療サービス

日常生活の場での注意点

B型肝炎の母子感染について

最新の治療・ガイドライン等

## 拠点病院が取り組んでいること

### 支援についての情報

#### ○ 患者支援

- 肝疾患相談・支援センター事業
- 肝臓病教室開催
- 家族支援講座開催
- 肝炎患者の就労に関する総合支援モデル事業

#### ○ 関係者支援

- 市町村等技術支援等
- 地域連携事業

### 研修についての情報

#### ○ 会議についての情報

- 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会

#### ○ 研修についての情報

- 肝炎専門医療従事者研修事業の実施
- 一般医療従事者研修の実施

### 啓発について

- 市民公開講座開催

SPSSStatistics

### 自治体・拠点病





## 平成28年度 肝臓病教室開催日程

No.	開催日	演題1	演題2	場所
95	4/14	肝臓病に関係する検査について		臨床大講堂
96	5/26	「肝臓がんです」と言われたら・・・		臨床大講堂
97	6/23	肝硬変を進行させないために 治療と管理	肝臓病と口腔ケア	臨床大講堂
98	7/21	肝硬変を進行させないために 肝硬変の食事療法	肝臓病の薬について～患者さん からよくある質問と注意点～	臨床大講堂
8月の肝臓病教室はお休みいたします。				
99	9/8	肝疾患と上手に付き合うために・・・ 慢性疾患看護専門看護師の視点から	肝臓病コミュニティクラブ	臨床大講堂
100	10/30 (日曜日)	肝臓病教室100回記念講演会		
		会場：会議・研修施設ACU 1614 午後1～午後3 (札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45) B型肝炎・C型肝炎について (予定)		
101	11/24	肝細胞がんのカテーテル治療	肝臓病コミュニティクラブ	臨床大講堂
102	12/22	放っておけない!!!脂肪肝・アルコール	おいしいものは脂肪と糖で	臨床大講堂

HOME



センターについて



患者様へ



医療機関の皆様へ



関連リンク



新着情報一覧

▶ 新着情報

▶ 募集について

## 新着情報

新着情報

[「MOMO肝通信Vol.9」を発行しました](#)

2016.06.13

新着情報

[第9回肝臓病教室および第2回家族支援講座を開催しました！](#)

2016.05.19

新着情報

[第9回肝臓病教室 及び 第2回家族支援講座開催のご案内](#)

2016.05.12

新着情報

[「MOMO肝通信Vol.8」を発行しました！](#)

2016.03.29

新着情報

[第8回肝臓病教室 及び 第1回家族支援講座を開催しました！](#)

2016.02.23

新着情報

[「MOMO肝通信Vol. 7」を発行しました！](#)

2016.02.02

新着情報

[第8回肝臓病教室 及び 第1回家族支援講座開催のご案内](#)

2016.01.20

## 2016.05.02 平成28年度 査の開催状況

## 出張肝臓病教室&肝炎ウイルス検



現在申込のあった出張 肝臓病教室については以下のとおりとなっています。医師・看護師・薬剤師・栄養士・ソーシャルワーカー・事務員がチームを組んで行っています。

また、今年度から教室終了後、その場で「肝炎ウイルス検査」の採血も実施しています。

開催日	場所	対象者・人数	開催時間
4/5 (火)	アークホテル岡山A	社員・20人	15:00~1時間 16:00~
4/27 (水)	アークホテル岡山B	社員・20人	15:00~1時間 16:00~
5/16 (月)	住友生命保険会社	社員・30人	16:30~1時間 17:30~
5/25 (水)	水島協同病院	職員・50人	15:00~1時間 採血なし
6/15 (水)	メディセオ	薬剤師・20人	16:00~1時間 17:00~
6/28 (火)	日生漁業協同組合	組合員・60人	11:00~20分 11:30~
7/28 (木)	真庭警察署	警察官・50人~60人	10:00~1時間 11:30~



# MOMO肝通信

発行元:岡山大学病院  
岡山県肝炎相談センター  
086-235-6851  
発行日:2016.6.13



## 「香川県立中央病院と岡山大学病院の連携活動」

香川県立中央病院 地域医療連携課 森田康之



香川県立中央病院肝炎相談支援センターにて肝炎相談員をしております森田と申します。香川県には小豆島や直島といった離島が多くあり、島から岡山大学病院様に受診される方が多くいらっしゃいます。そのような背景もあり、今年当院は岡山大学病院様と共同開催という形で、直島町にて肝炎啓発活動を行うこととなりました。

去る3月7日(月)に「地域肝炎治療コーディネーター養成研修会」が開催されました。まず当院では高口医師が、岡山大学病院様では池田医師・難波看護師が、肝炎の治療全般の話や啓発活動及びコーディネーターの重要性、岡山大学病院で既に実施されている活動に関するご講演をされました。そして研修会終了後には、参加者全員で今後の直島での事業についての意見交換会があり、活発な議論が行われました。その結果9月11日(日)に行われる「直島健康福祉まつり」にて、出前講座や無料肝炎ウイルス検査を実施することが決まりました。

このように2つの県が協力して事業を行うということは全国的に見ても大変珍しいようで、そのような活動に携わらせていただくことに誇りや重圧を感じております。相談員としての経験も浅くまだまだ至らないところも多々あるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひします。



▼ トップページ

▼ 肝疾患相談センター

▼ ご相談方法

▼ 患者さんへ

▼ 医療機関の皆様へ

▼ 北海道拠点病院



医療機関の皆様へ

医療機関の皆様へ

肝炎学術講演会

肝疾患フォーラム

札幌肝疾患相談セミナー

文字サイズ変更

小

中

大

インターフェロンフリー  
再治療の意見書  
作成受付について

肝疾患でお悩みの方、  
どうぞお気軽にご相談ください。

札幌医科大学附属病院  
肝疾患相談センター

電話 011-611-5700

肝炎学術講演会 お知らせ



### ●第3回 肝炎学術講演会

日時： 平成28年5月6日（金）

時間： 19：00～20：30

場所： 札幌全日空ホテル 24F 白楊の間

共催： 北海道大学病院 肝疾患相談センター、札幌医科大学附属病院肝疾患相談センター、アボットジャパン株式会社

申込先： 北海道大学病院 肝疾患相談センター

[詳細はこちら](#)

「第3回 肝炎学術講演会」は終了しました。

[▼過去の「肝炎学術講演会」開催内容を表示する](#)

肝疾患フォーラム お知らせ





- TOP
- センター長ごあいさつ
- 拠点病院について
- 肝疾患相談センターについて
- 肝疾患の相談について
- 肝疾患の外来について
- セミナー
- 市民公開講座
- 肝臓病教室
- 肝臓学会専門医
- 協力医療機関
- 連絡協議会
- コーディネーター



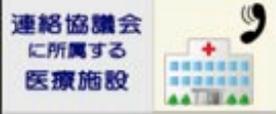
セミナー



市民公開講座



肝臓病教室



- 大分県健康づくり支援課  
肝炎無料検査について
- 大分県健康づくり支援課  
肝炎ウイルス検査  
協力医療機関の方へ
- 大分県健康づくり支援課  
肝炎治療費助成制度について

## 肝臓病家族支援講座

### 第1回 肝臓病家族支援講座(終了)

日時：平成28年2月28日(日)午後2時から

会場：ホルトホール大分 3階『大会議室』 大分市金池南一丁目5番1号

テーマ：-患者さんとご家族のために-

総合司会：清家正隆先生

講演：1「肝疾患のサポート-家族への願い-

NPO法人「共に生きる」代表 江藤 裕子先生

2「思い」と「暮らし」

大分大学臨床薬理学講座 臨床心理士 関口 愛先生

ふれあい交流会

サポーター：首藤 美穂先生・北川 高臣先生(大分県福祉健康部 健康対策課)

白石 清美先生 (大分市保健所 健康予防課)

本田 浩一先生 (大分大学医学部附属病院 消化器内科)

江藤 裕子先生 (NPO法人 共に生きる)

大口 市子先生 (地域肝炎治療コーディネーター) 関口 愛 (臨床心理士)

対象：患者さん、そのご家族、肝臓病に関心のある方

[清家先生のコメント/アンケート/](#)





HOME

センター長挨拶

患者さんへ

医療関係者の方へ

関連リンク

お問い合わせ

[肝疾患診療相談センター](#) > [お知らせ](#) > 6-7月の就労相談窓口開設日のお知らせ

## お知らせ

## 最近のお知らせ

6-7月の就労相談窓口開設日のお知らせ

肝臓機能障害に関する身体障害者認定基準が変更になりました

上原多香子さんが「知って肝炎プロジェクト」で愛媛県を表敬訪問しました

4-5月の就労相談窓口開設日のお知らせ

3月の就労相談窓口開設日のお知らせ

第33回肝臓病教室（3月16日開催）のお知らせ

第32回肝臓病教室を開催しました

1-2月の就労相談窓口開設日のお知らせ

愛媛県でも肝疾患コーディネーター養成が始まりました。

平成27年度肝臓病教室のお

## 6-7月の就労相談窓口開設日のお知らせ

2016年5月26日

平成28年6月、7月の就労相談開催日が決定しましたのでお知らせします。

6月

1日（水）、10日（金）、15日（水）、22日（水）、29日（水）

7月

6日（水）、13日（水）、20日（水）、29日（金）

予約方法：

○愛媛大学病院通院中の方

主治医もしくは内科受付で予約をとることができます。

○他の医療機関に通院されている方

下記の連絡先に問い合わせの上、予約をお願いします。

愛媛大学医学部附属病院肝疾患診療相談センター

089-960-5955（午前9時～午後4時）

# 優良事例から学ぶことの重要性

各地の取り組みをご紹介ください！

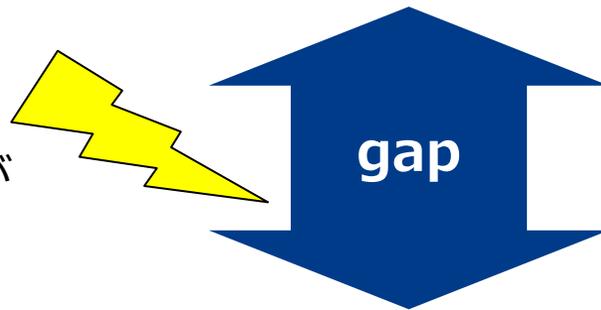
[kanencenter@hospk.ncgm.go.jp](mailto:kanencenter@hospk.ncgm.go.jp)

# 一般市民と医療者のEvidence practice gap

エビデンスによって指示されたメッセージが「ガイドライン」として生活者に提供

エビデンス：客観的で再現性に富む、他者が有していた情報資産

Gapの補完には、Social marketing手法が有効ではないか



生活者には「他人事」（エビデンスとは無関係のインサイト）に支持された「マインドライン」がある

- ・自身の経験や思い込み（belief system, 潜在意識下に刷り込まれた信念体系）
- ・さまざまな交絡因子（confounding factor）

# かかりつけ医と拠点病院のEvidence practice gap

専門医：エビデンスによって指示されたメッセージが  
「診療ガイドライン」として提供



かかりつけ医（GP）にはエビデンスだけではない  
「診療マインドライン」がある（Knowledge-  
in-practice-in-context）